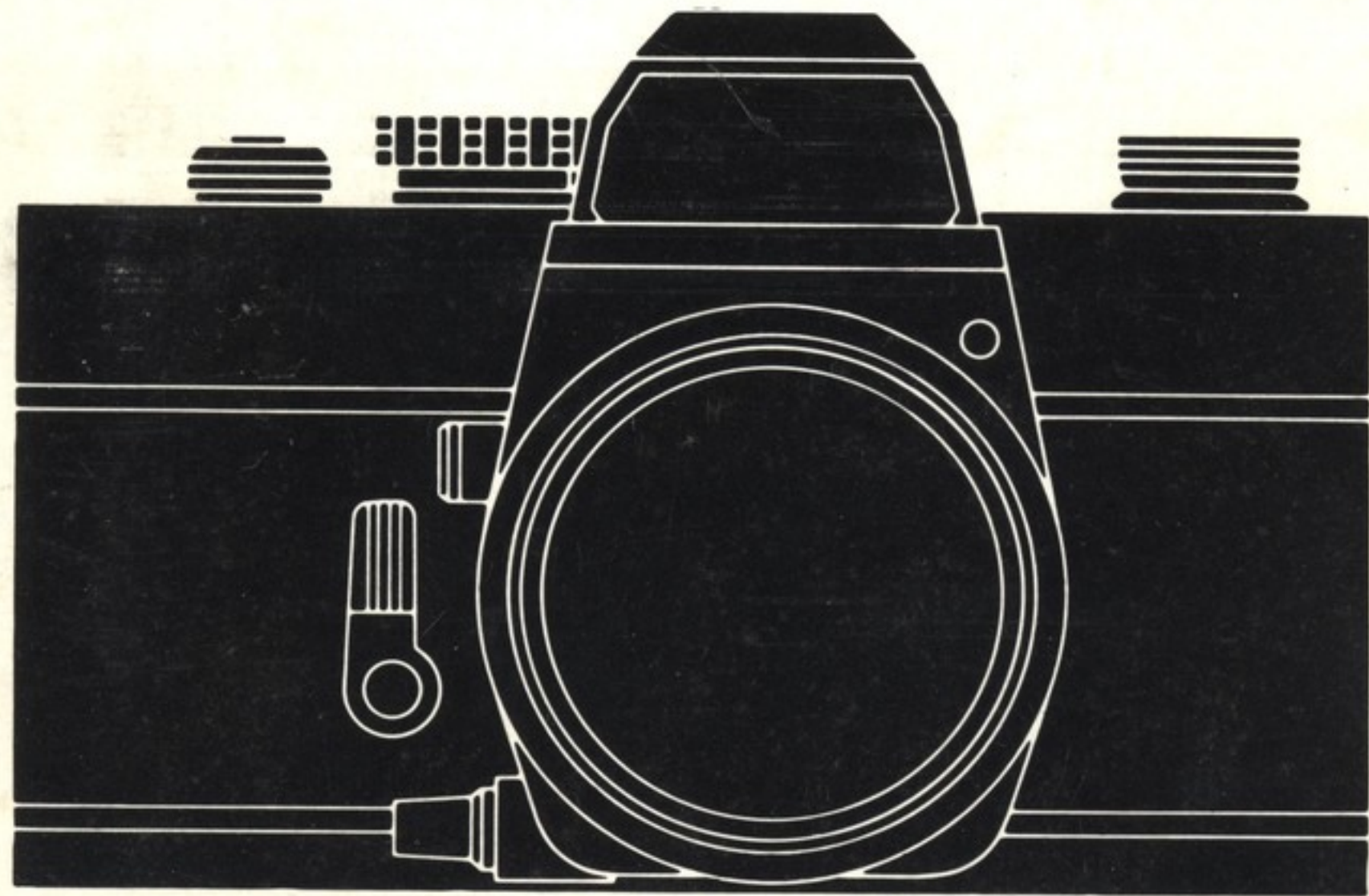


# MINOLTA SR-T SUPER



使用説明書



## お買いあげありがとうございます

ミノルタSR-Tスーパーは高性能一眼レフとしてロングランを続けているSR-Tを更に性能アップした最新鋭機です。即ちSR-Tで好評の開放測光TTLに加えてミノルタ独自の分割測光のCLC方式はそのまま継承し、情報集中式のファインダー内には更に絞り値の表示も可能となりました

又、多重露光機構、ノンコードガンクリップなどの高級機に必要な諸性能を組込んでいます。

この高性能を、さらに発揮させていただくため豊富で多彩な交換レンズ群とアクセサリ一群がとりそろえてあります。

SR-Tスーパーの性能をフルに発揮させて、大いに貴方の腕をふるっていただければ、私どもの喜び、これにまさるものはありません。正しい操作とゆきとどいた手入れで、長くご愛用いただきますようお願い申し上げます

この使用説明書はF1.4レンズ付の説明になっていますがF1.2、F1.7レンズをお求めの方も使用方法は同じです。



# 目次

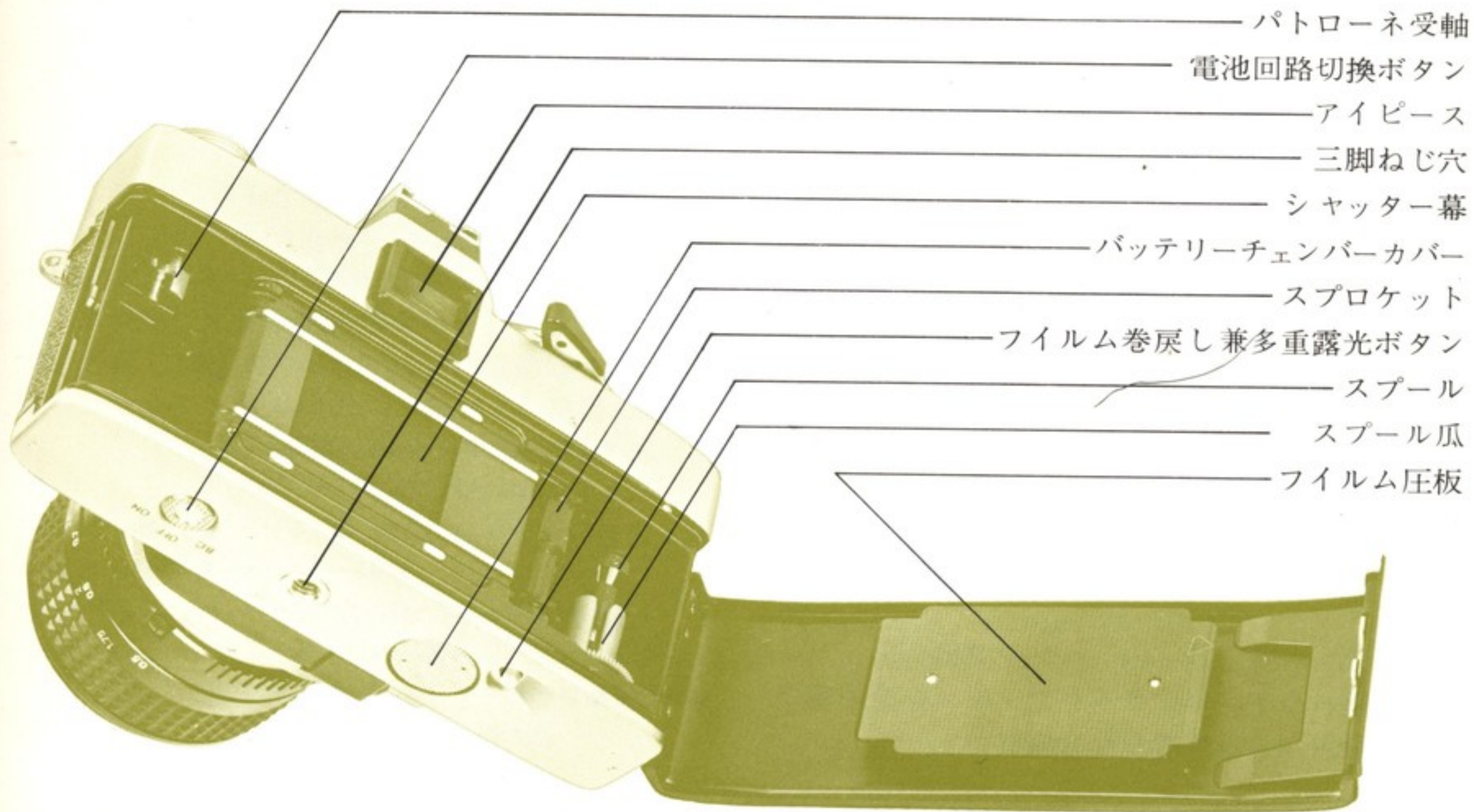
各部の名称	2
SR-Tスーパーの主な特長	4
主な性能	5
ご使用の前に	6
(バッテリーのテスト)	
撮影の準備から完了まで	8
フィルムに入れ方	10
シャッター速度と絞り	13
CLC採用のTTL露出方式	15
フィルムの感度換算板	16
露出の合わせ方	17
カメラの構え方	20
ピントの合わせ方	21
絞り効果と被写界深度	22
絞り効果の確認は	25
ミラーロックボタンの扱い方	26
セルフタイマーはこんなとき	27
多重露光について	28
赤外撮影には赤外マークで	29
⊖はフィルム位置	29
フラッシュ撮影について	30

フィルムの巻戻し方	31
レンズ交換について	33
従来のSR用レンズを使う時	34
SR-Tスーパーと各交換レンズ群の測光方法	36
カメラの保存と手入れ	37
アフターサービスのご案内	38









- パトローネ受軸
- 電池回路切換ボタン
- アイピース
- 三脚ねじ穴
- シャッター幕
- バッテリーチェンバーカバー
- スプロケット
- フィルム巻戻し兼多重露光ボタン
- スプール
- スプール爪
- フィルム圧板

## SR-Tスーパーの主な特長

### 1. 最も使いやすい開放測光TTL

- (イ) ミノルタ独自の使いやすい開放測光TTL(CLC方式)
- (ロ) 開放目盛の角度補正をもつ正確な露出
- (ハ) アイピースからの有害光防止機構付

### 2. あらゆる撮影情報がひとめでわかるファインダー

- (イ) ファインダーが明るく、のぞくだけで、撮影可否がひとめでわかる追針式
- (ロ) シャッター速度、絞りファインダー内表示

### 3. 多重露光が可能

### 4. レンズ交換は不変のバヨネット方式で迅速、正確

### 5. カラーに強いロッドコールレンズ群

優れたアクロマチックコーティングと電子設計による秀逸な総合描写力

### 6. 広範囲な撮影をカバーするシステムカメラ

システムカメラとしての豊富な交換レンズ及び働に応じたアクセサリー群の完備

### 7. その他

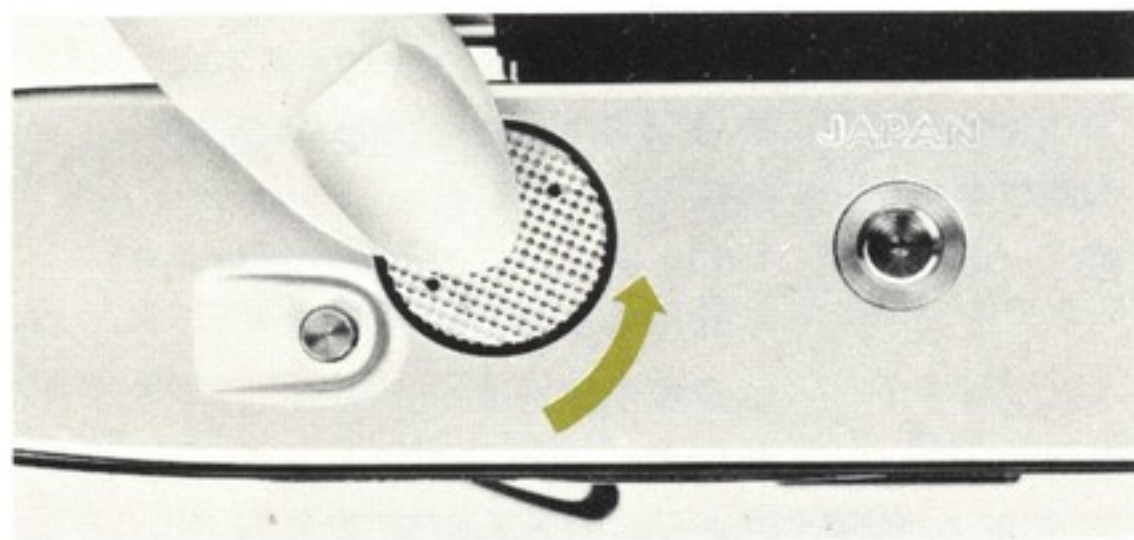
- (イ) ミラー切れ防止の大型ミラー
- (ロ) シンクロ接点のワンターミナル
- (ハ) ホットシュー固定(ノンコードガンタリップ)
- (ニ) 巻上レバーの形状変更(巻上げ操作がしやすくなった)
- (ホ) 従来のSR用レンズおよびアクセサリーが使用できる



## 主な性能

型 式	J135フィルム使用のTTLメーター連動 35mm一眼レフ	ミ ラ ー	クイックリターン式ミラー (ミラーロック付)
画 面 サ イ ズ	24×36mm	ピントガラス	スプリットマイクロプリズム式
レ ン ズ	MC ROKKOR-PG 58mm F1.2 MC ROKKOR-PG 50mm F1.4 MC ROKKOR-PF 50mm F1.7 オートプリセット式(メーターカプラー付)	シンクロ接点	X, FP(ワンターミナル切換式)
シャッター	フォーカルプレーン式 B1~1/1000 (等間隔目盛)	セルフタイマー	内蔵
露 出 計	開放測光式TTL CdSメーター内蔵 (CLC方式) (水銀電池JIS記号H-D型1個使用) ON, OFF, BC回路切換ボタン付	巻 上 げ	レバー巻上げ式(引出余裕角あり) 小刻み巻上げ可能 二重露出防止付
測 定 範 囲	EV 3~17 (F1.4付でASA100のとき)	フィルムカウンター	順算式自動復元
フィルム感度域	ASA 6~6400	フィルム巻戻	フィルム巻戻しボタン クランク式
ファインダー	ペンタ式一眼レフレックス方式、 メーター指針、追針、バッテリーチェッ クマーク、シャッター速度目盛および絞 り目盛ファインダー内表示	多 重 露 光	巻戻しボタンにより多重露光可能
		アクセサリ	ミノルタX-1及び従来のSRと共用
		そ の 他	ボディにノンコードガンクリップ固定
		大きさ・重量	145×95×47.5mm 710g(ボディのみ)

## ご使用前に……



- 1 バッテリーチェンバーカバーに親指をあてて矢印の方向に回し、カバーをあけます



- 2 水銀電池の⊕極を外側にして挿入します  
(水銀電池は、JIS記号H-D型を使います)

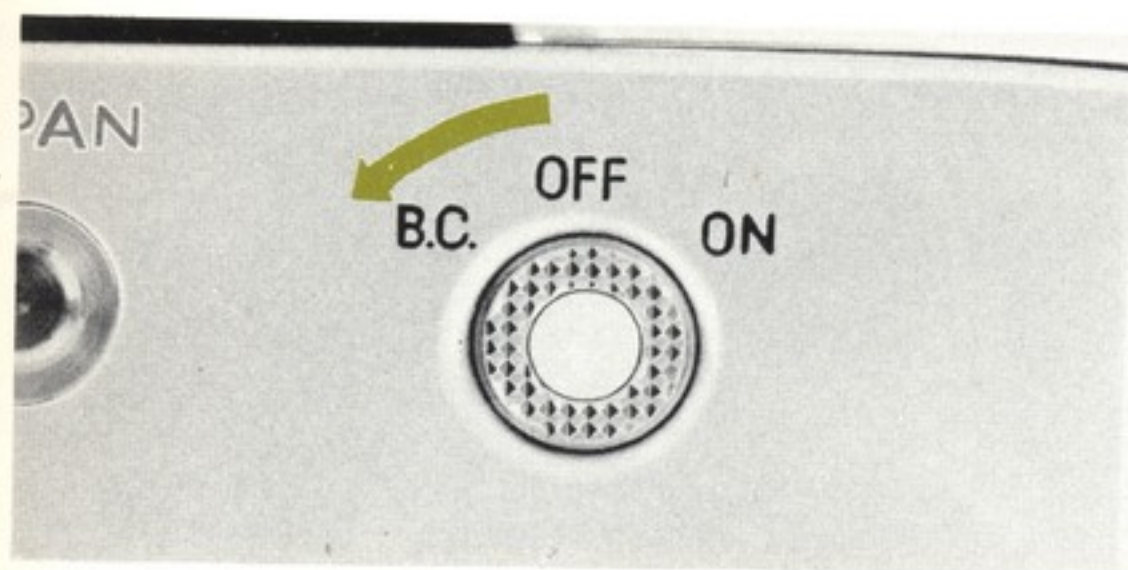
### 注意

- ☆電池を汚れたままお使いになると、接触不良となることがあります  
汗や油がつかないようにしてください
- ☆しばらく使用しない時は電池回路切換ボタンをOFFにしておきます

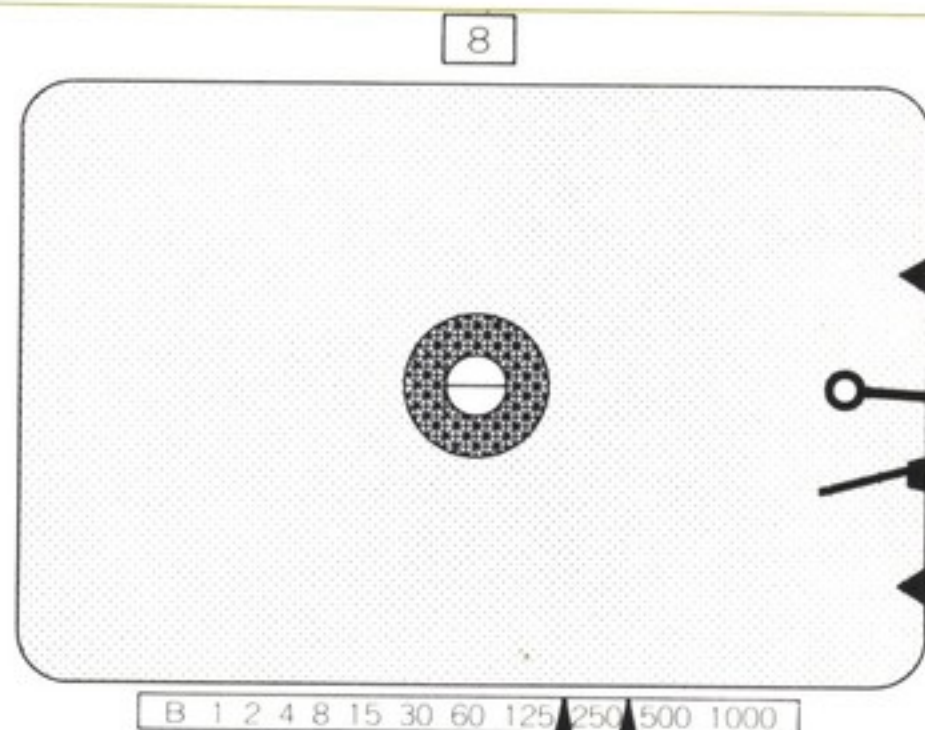
- ☆長期間(1ヶ月以上)使用しない場合には、電池を取出して乾燥した場所に保存してください



● バッテリーのテストを……



1 水銀電池の回路切換ボタンをBCにまわします



2 ファインダーの指針が、図のようにチェックマークの位置にあれば、電圧は良好です

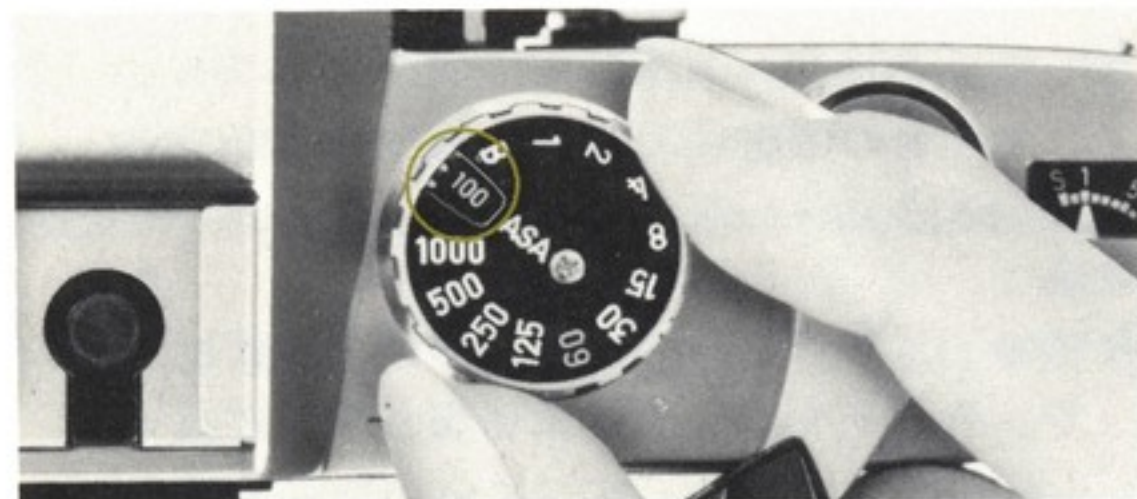
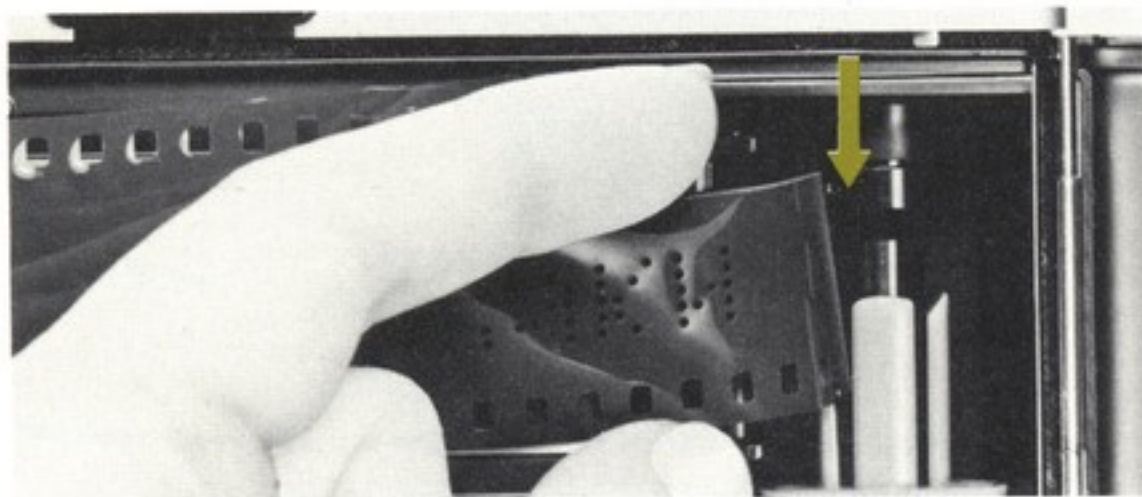
注意

★ バッテリーチェックは電池の消耗がはげしいので、チェック後すぐもとに戻してください

★ 水銀電池の寿命は約一年。寿命がくると急激に電圧低下をきたします

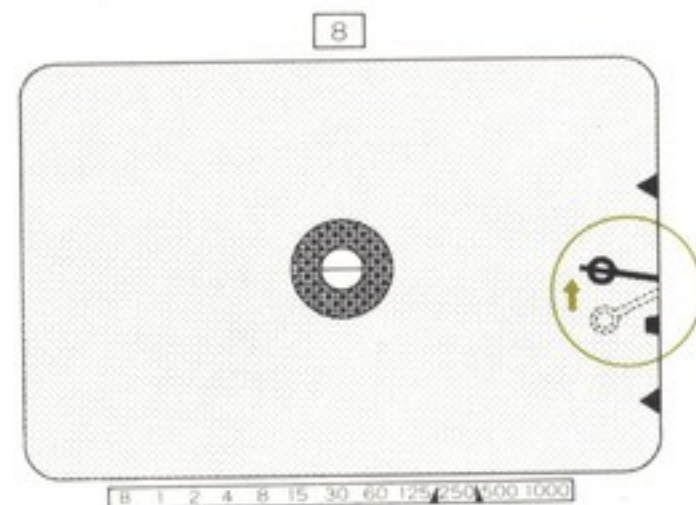
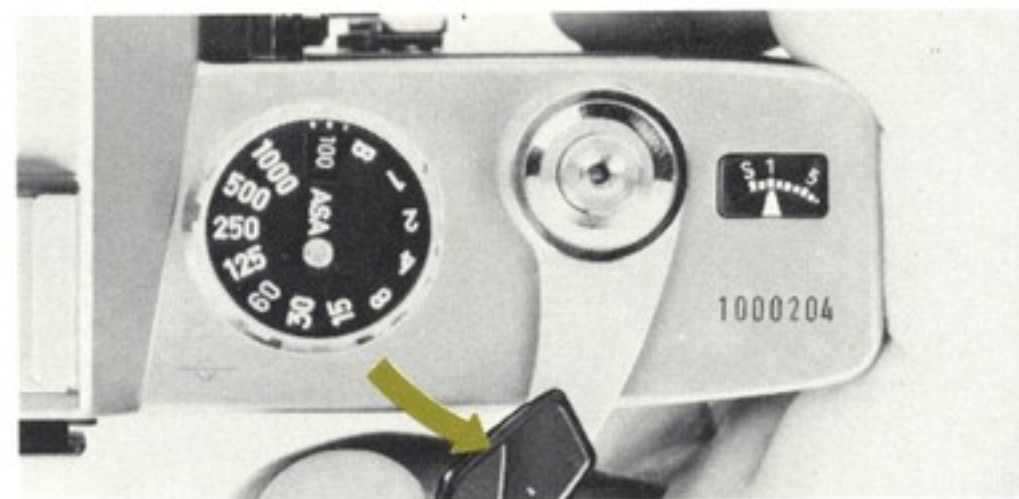
## 撮影の準備から完了まで

1. フィルムを入れ、電池回路切換ボタンを ON にします



2. フィルム感度をあわせませす

3. 巻上げレバーを巻上げ、カウンターに1をだします



4. シャッター速度を決め、絞りリングを操作して露出を合わせます (メーター指針に追針を合わせます)

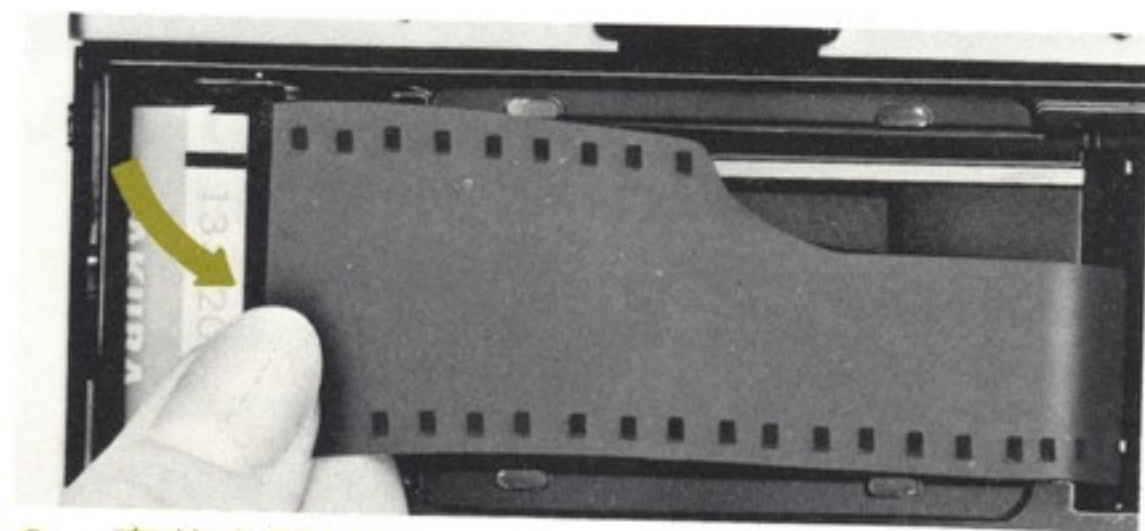


5. ピントをあわせ、構図をきめます



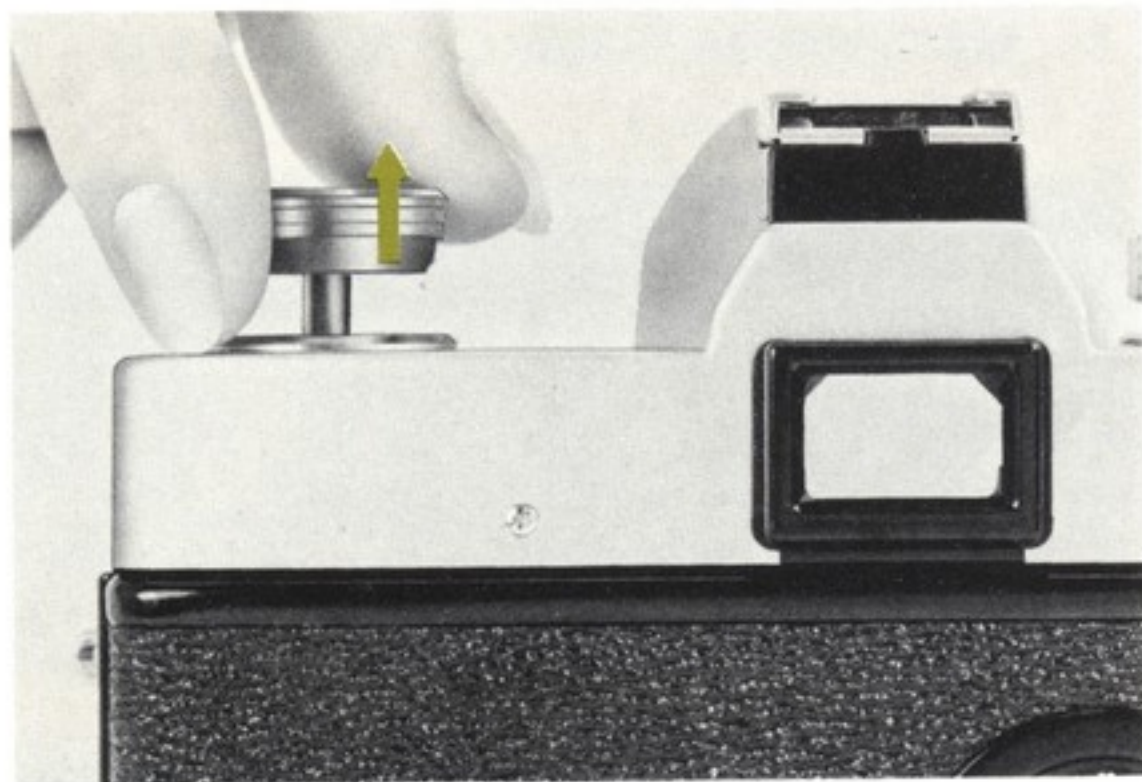
6. シャッターボタンを押し、撮影します

7. 撮影が終わると、撮影したフィルムをパトローネに巻戻します

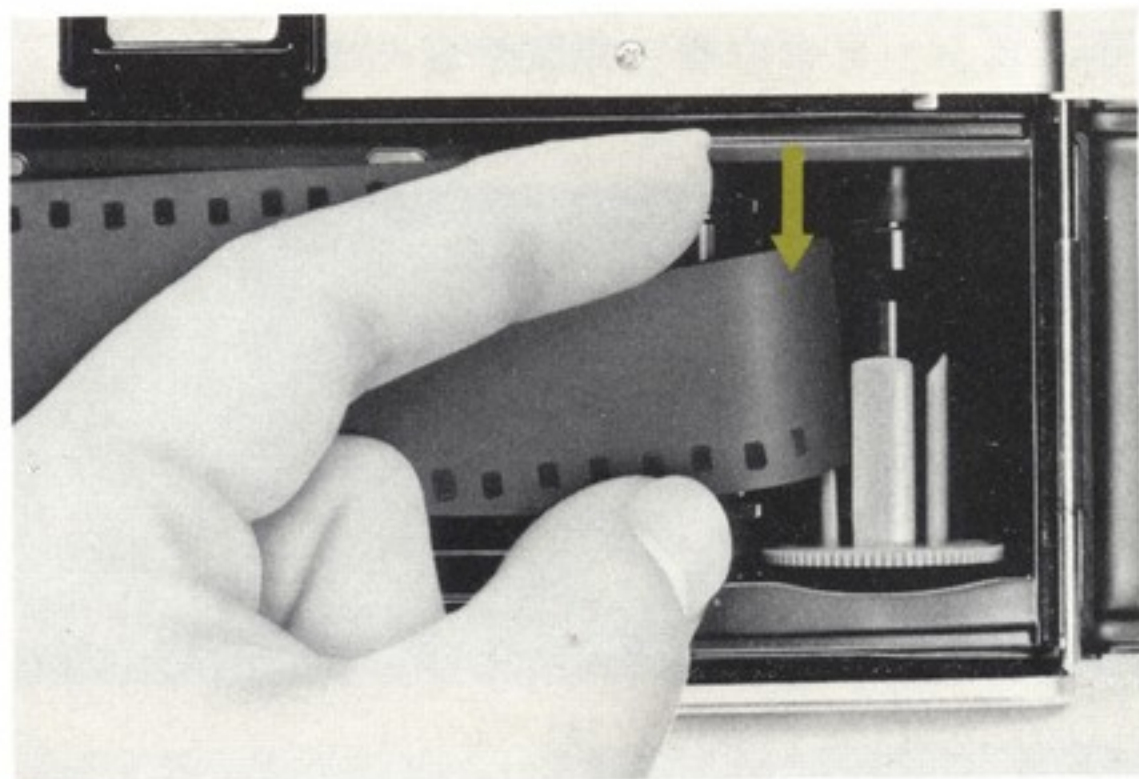


8. 裏蓋を開けて、パトローネを取出します

## フィルムに入れ方

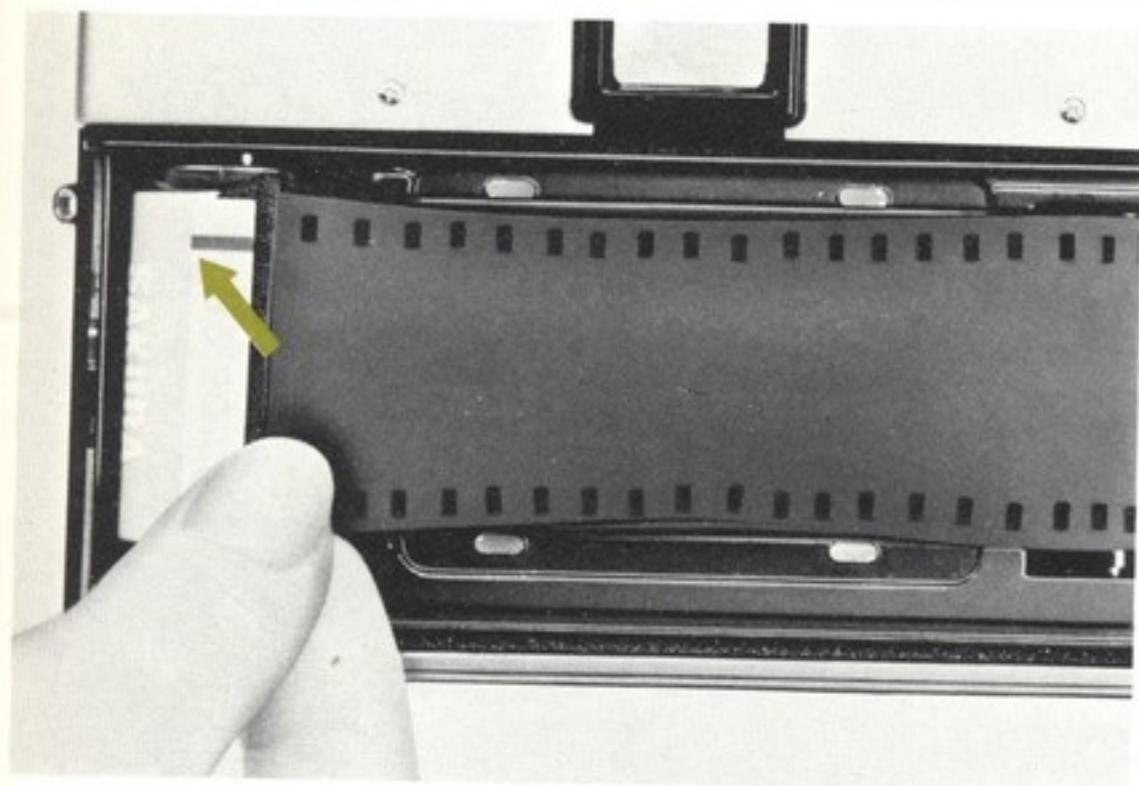


- 1** 裏蓋開閉ノブ（フィルム巻戻し兼用）を引出し、さらに強く引くと裏蓋が開きます

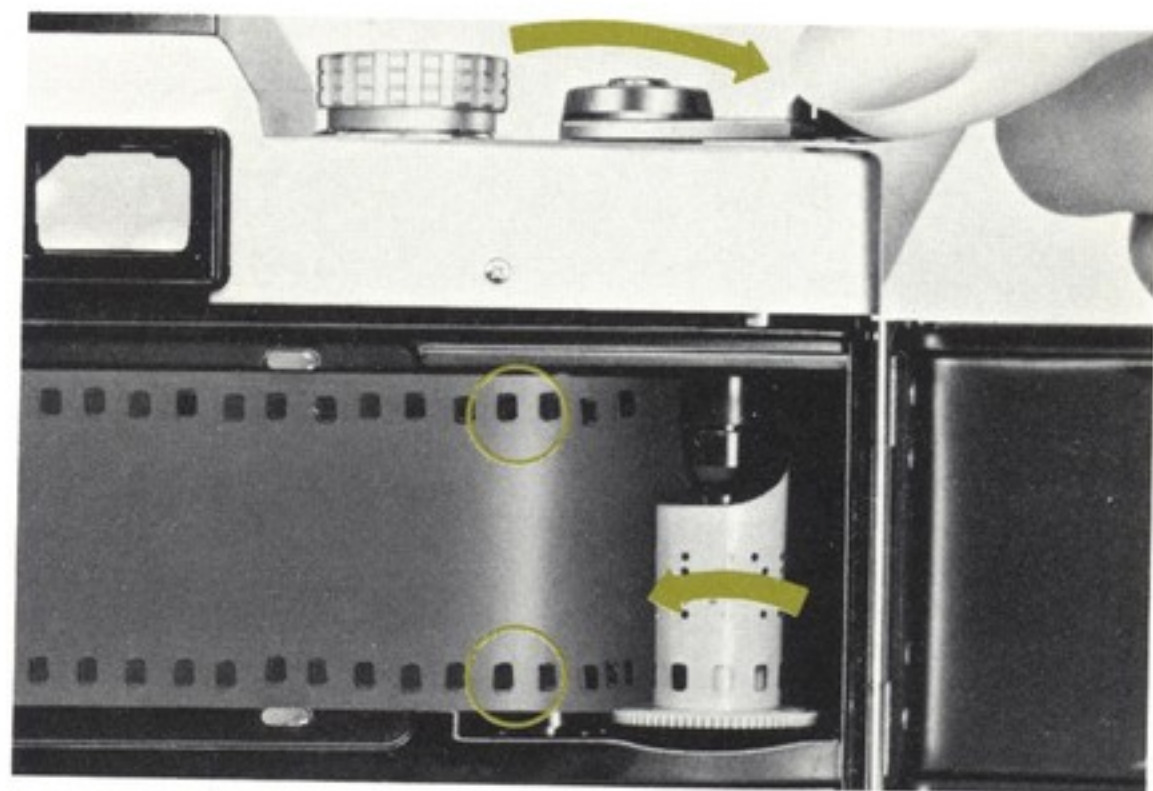


- 2** スプール爪（4つあり）にフィルムを上から下（矢印方向）にさしこみます

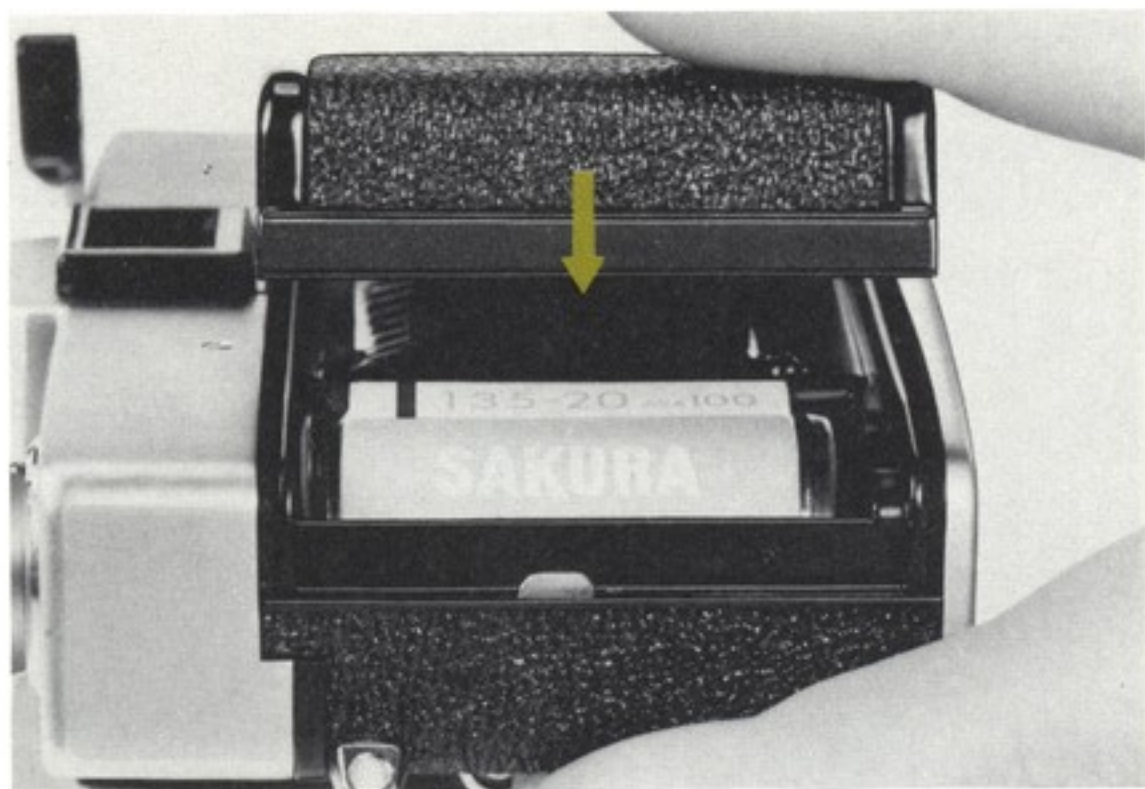




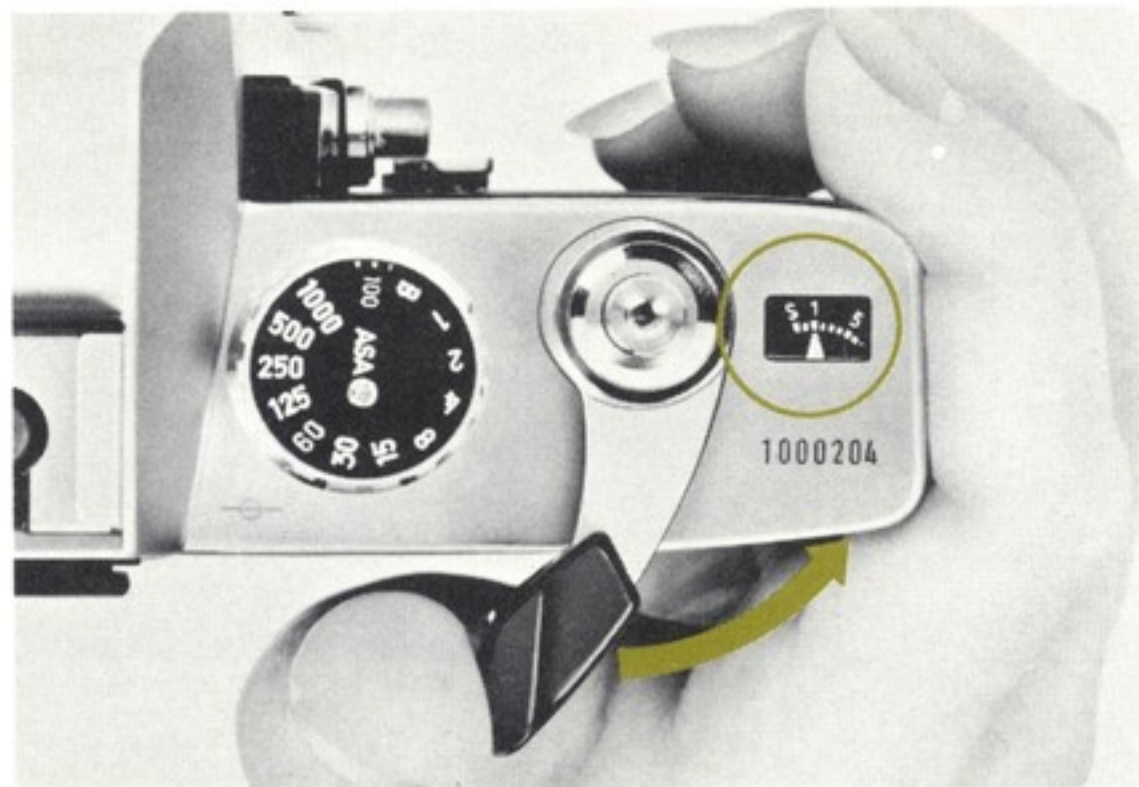
- 3** パトローネを、軸のある方を下にして入れ、開閉ノブをもと通りにします



- 4** 巻上げレバーで、フィルムを巻上げ、フィルムの両側の穴をスプロケットの歯にかみあわせます。巻上げレバーが動かない場合には、シャッターボタンを押してください  
(フィルム巻戻しボタンが押しこまれた状態のとき巻上げてもフィルムは送られません。このときもう一度、シャッターボタンを押して巻上げレバーを巻上げてください)



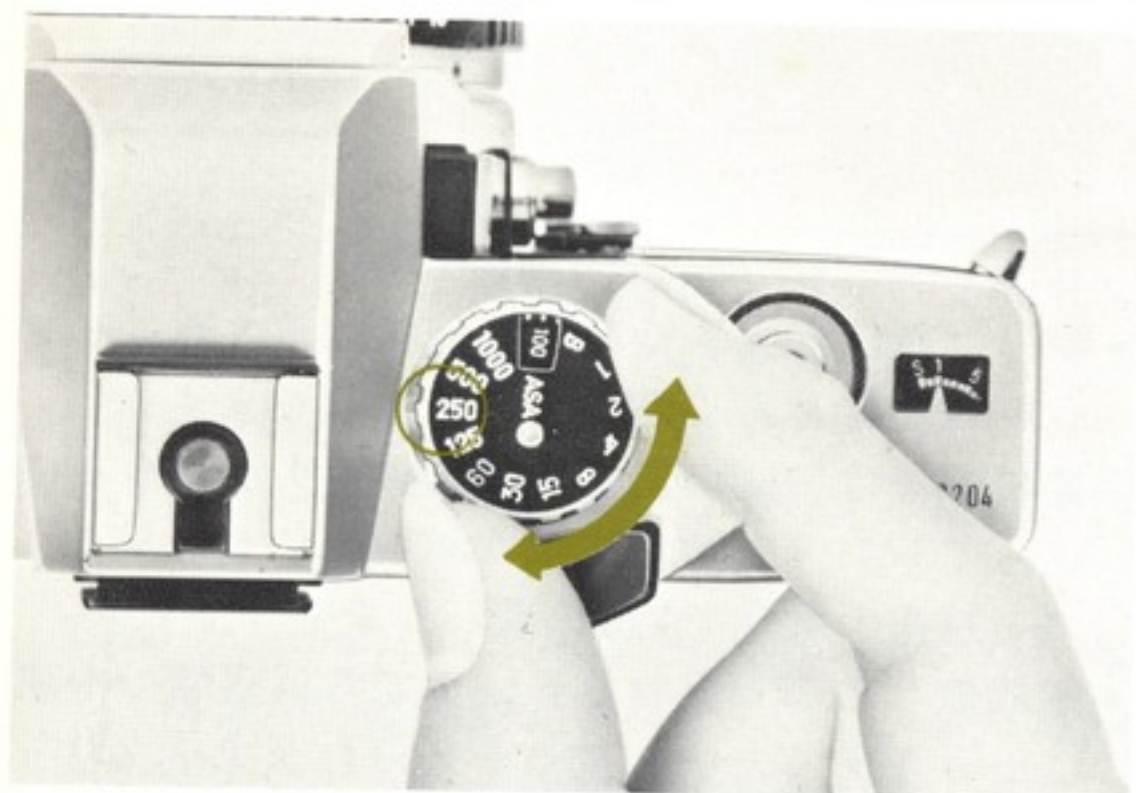
- 5** フィルムが確実に巻取られていることを確かめてから裏蓋をしめます



- 6** フィルムを巻上げ、シャッターボタンを押す操作を繰り返し、フィルムカウンター窓の△印に1をだします
- フィルムカウンター窓の数字（目盛）はフィルム1コマづつの動きを示します
  - 連続撮影に便利なように、巻上げレバーには余裕角がついています。
  - フィルムカウンターは裏蓋をあけたときにスタートマーク（S）に戻ります

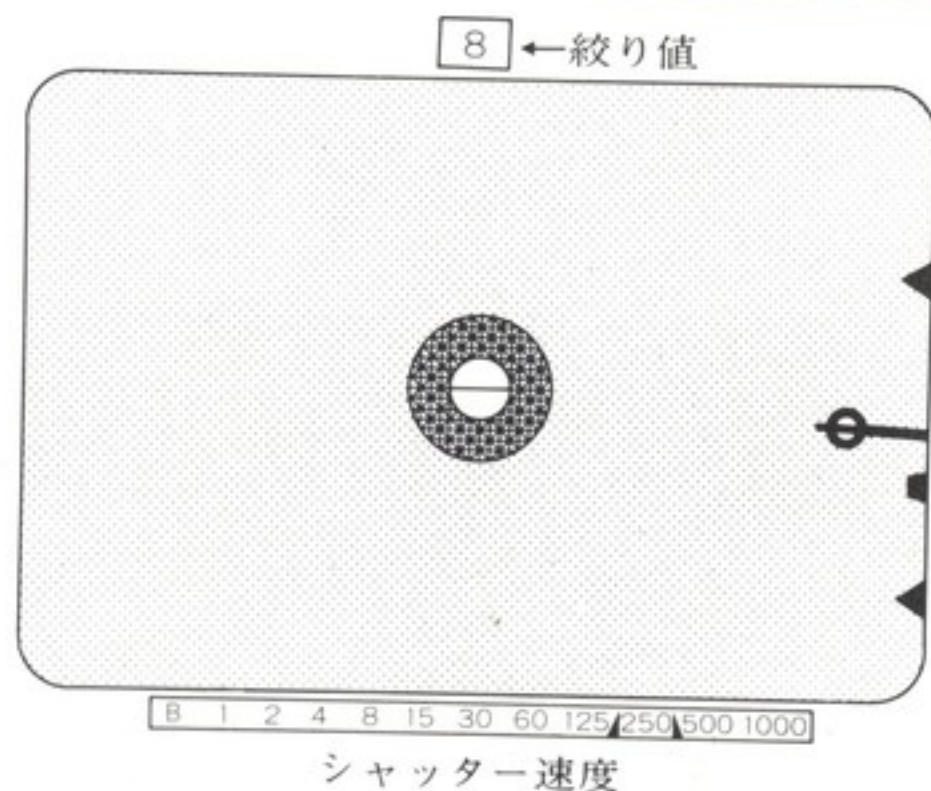


## シャッター速度と絞り



シャッター速度は、フィルムに入る光量を時間的にコントロールするものです

シャッター速度の調節はボディ上の赤印にシャッター速度ダイヤルを回して希望の目盛を合わせます。シャッター速度目盛のB、1～1000の数字は各々、B(バルブ)、1秒、1/2秒…1/1000秒の露出時間を示します



- シャッター速度目盛のBは、2秒以上の露出が必要なときに使います
- 赤字の60はスピードライト(ストロボ)を使って撮影するときにも利用するシャッター速度で1/60秒です
- 上図のようにファインダー内にもシャッター速度、絞り値が表示されます
- シャッター速度目盛の中間は使えません

絞り	1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16
光量比	2	1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64



絞りは、フィルムに達する光量を調節し、ピントのあう範囲（被写界深度P-24・25参照）を調節します

絞りリングにはF1.4のレンズは1.4、F1.7のレンズは1.7というように各々レンズの開放時から16までの絞り目盛（F値）が白字できざまれています。絞りリングの希望する絞り値（白字）を前部の白マークに合わせます

- 絞りは数値が大きくなるほどレンズを通してフィルム面にとどく光量が少なくなります  
この関係は左図のように絞り値が大きくなるに従ってレンズを通る光量が減っていき、絞り値の1目盛の変化で1/2に変わります
- 開放絞りの絞り値からF16まで各目盛間の中間にセットすると中間絞りがえられます（クリックがついています）
- 絞りとシャッター速度目盛は互いに隣りの目盛の2倍、1/2の露光量となる関係になっており、露出調節はこの絞り目盛とシャッター速度の組み合わせで行います
- ファインダー内に絞り値が見えるため、ファインダーから目を離さずに絞り値を設定することができます



## CLC採用のTTL露出方式

S R-Tスーパーは撮影レンズを通してフィルム面に到達する光量を測るTTL方式です  
露出合わせは、使い易い開放測光方式になっており、シャッター速度と絞りに連動する追針式で、CLC方式を採用しています

CLC (Contrast Light Compensatorの略) とはミノルタ独自の画期的なシステムで、より良好な撮影結果がえられる分割測光方式です

通常の写真体では従来のメーターと同様に適正露出を与え、しかも被写体輝度分布 (画面の部分、部分の明るさ) の殊殊な場合に従来のメーターよりもより適正な露出がえられる確率を高めるものです



## フィルム感度換算板

右図の目盛はASA感度目盛とDIN感度目盛が併記されています

DIN表示のフィルムを用いASA感度に換算したいとき、この感度換算板を利用します

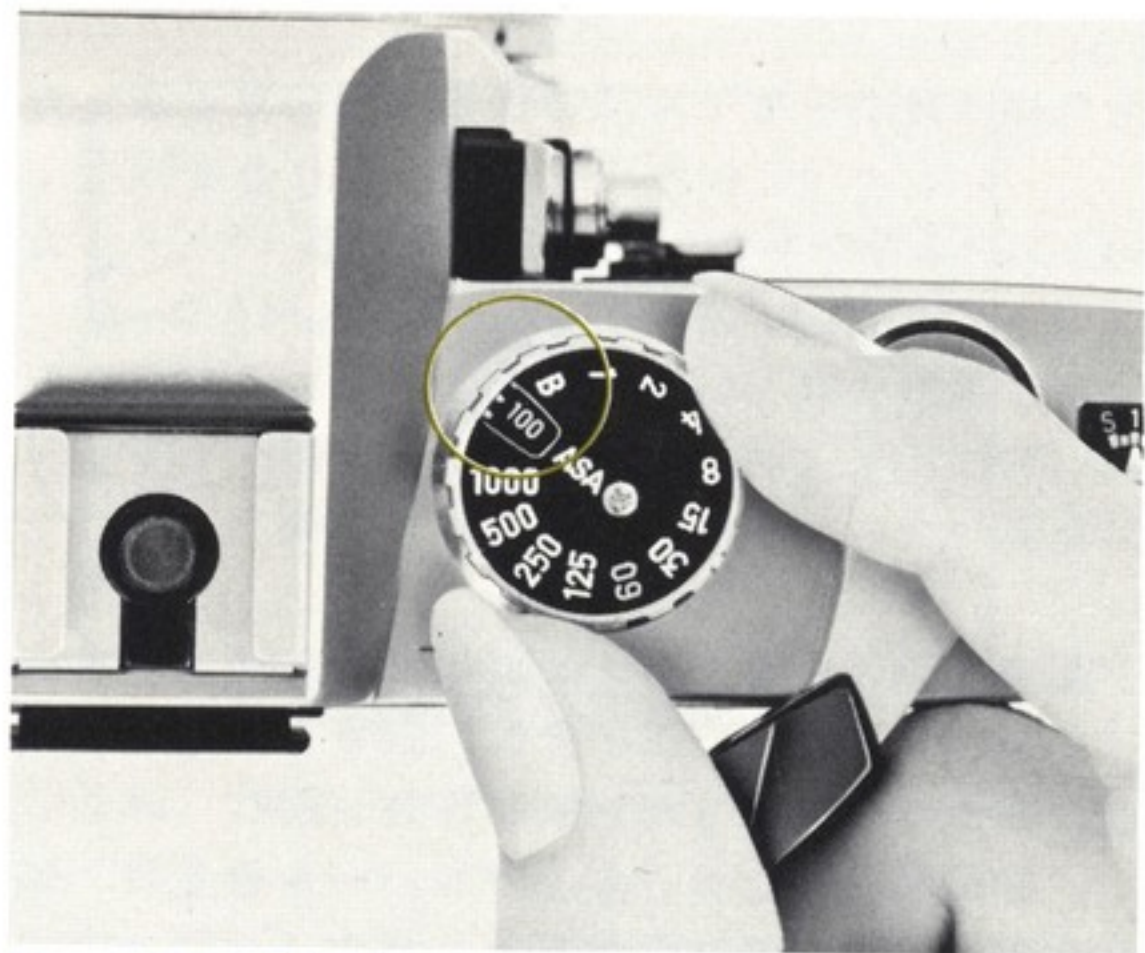




## 露出の合わせ方



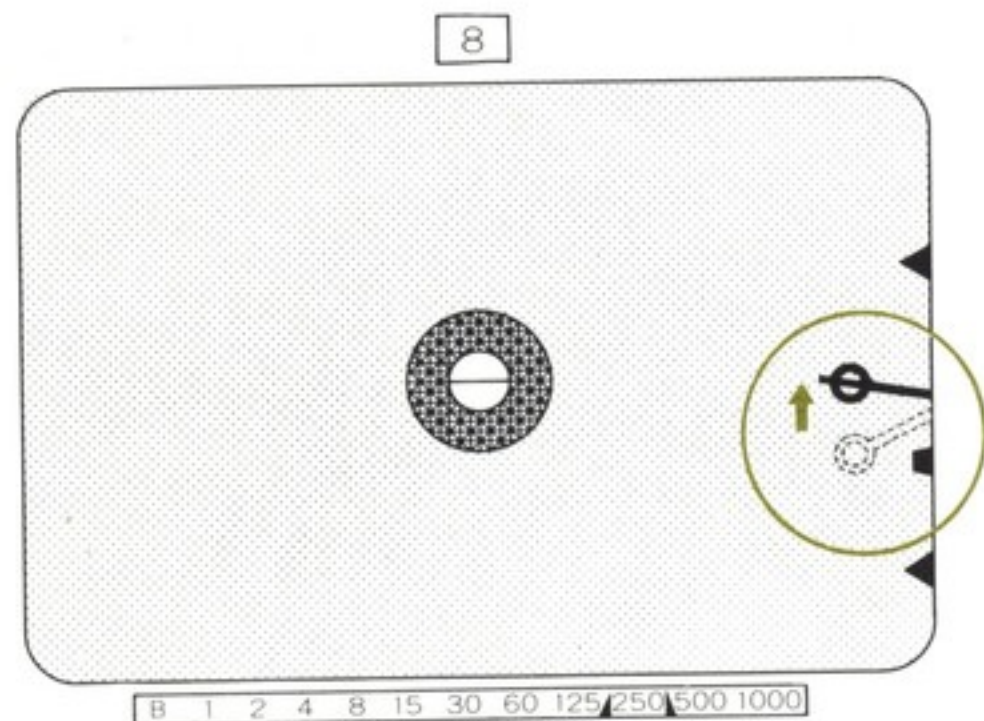
SR-Tスーパーは、絞りを開放にした明るいファインダーのままで測光できる開放測光式 TTL カメラです。ただし、従来のSR用レンズ（MCレンズ以外）は、使用時の絞り値で測光する絞り込み測光となります（扱いはP-34を参照）



### 1. ASA感度をあわせませす

ご使用になるフィルムのASA感度を、シャッター速度ダイヤルの外周リングを引きあげ感度調節窓の目盛に合わせます

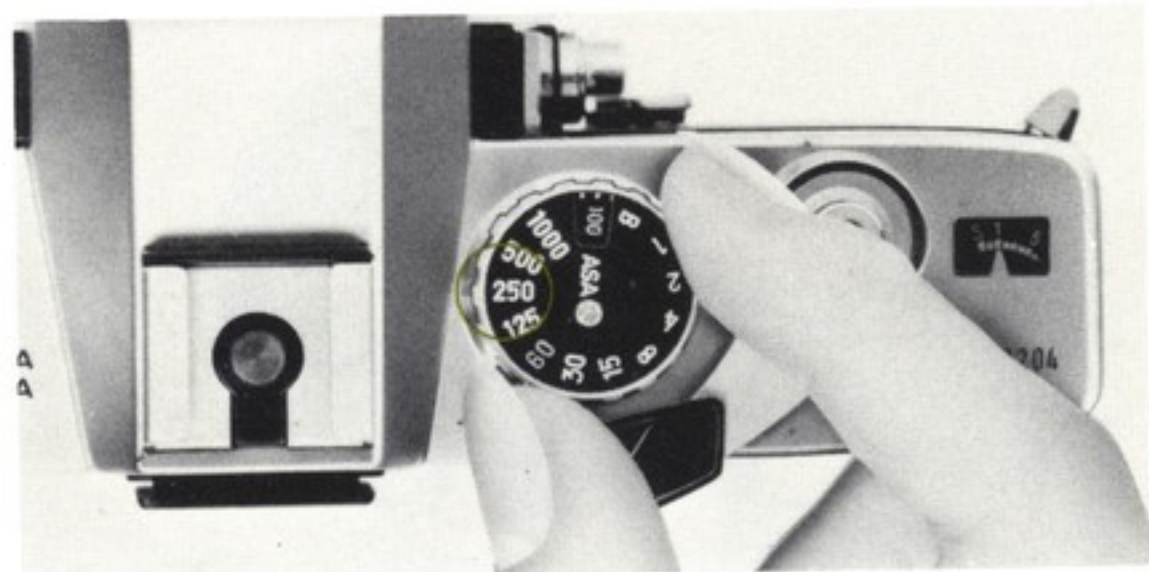




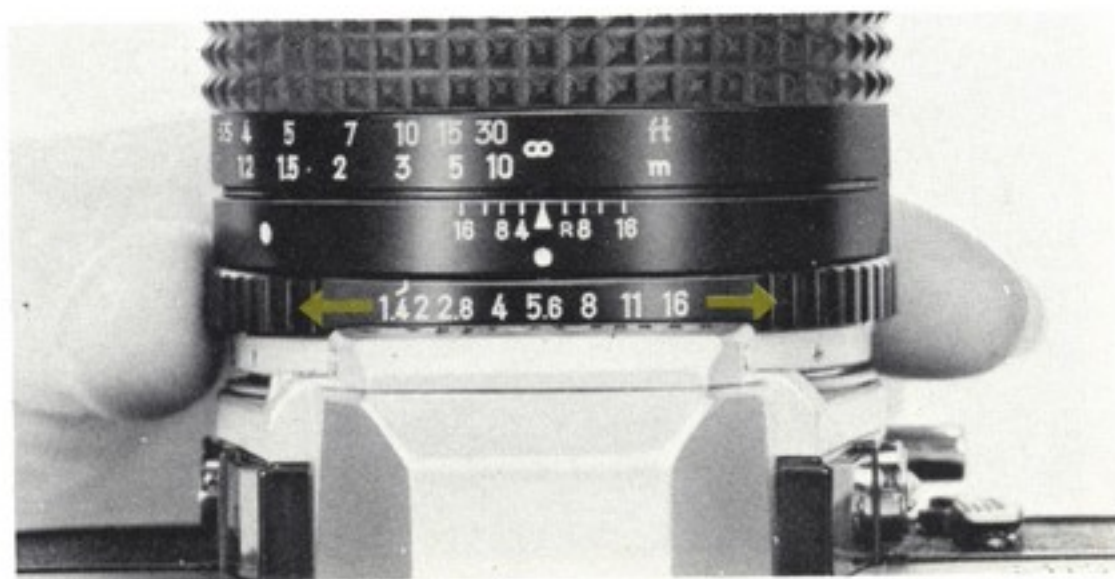
## 2. 露出をきめます

開放測光のとき、巻上げレバーを巻上げ、被写体にカメラを向けると、ファインダー内のメーター指針がふれますから、シャッター速度ダイヤルまたは絞りリングをまわして、この指針に追針をあわせます

- 上下の◀マークはメーターの連動範囲を示しメーター指針がこの範囲内にある時はいつでも適正露出がえられます



ファインダーにシャッター速度目盛と絞り値が示されるのでファインダーから目を離さずにシャッター速度と絞り値を合わせることができます





適正露出の絞り、シャッター速度の組合わせには、いくつかの組合わせができます。メーター指針と追針（絞り、シャッター速度に連動）は、ご使用のフィルムに対して適正な露出を与える組合わせのときにのみ一致します。その連動範囲はASA 100でEV 3～EV17です（F 1.4のとき）

操作方法として一般的にはシャッター速度を先にきめ、それから絞りリングをまわして測光される方が容易に露出あわせができます。絞りリングをまわしても追針が動かないときは、シャッター速度リングをまわしてください

- ☆シャッターを切るたびにメーター指針が振れますが安心してお使いください
- ☆シャッター速度が1/30以下のときは手ぶれにご注意ください。三脚を用いられるのもよいでしょう
- ☆SS級のフィルムの場合には、屋外撮影ではシャッター速度は1/125～1/250秒、屋内では1/30秒にし、動体はなるべく速いシャッター速度にします
- ☆集合人物や建築写真のように被写界深度を深くして使うときは、できるだけ小絞りにします  
なお、詳細は被写界深度表（P-24・25）をご覧ください
- ☆ベローズ、中間リングを用いるときの露出合わせは絞り込み測光式で使用し、ハンドプリセットレンズの場合（P-35）と同じになります  
絞りを絞って接写するとき、接眼からとくに強力な光が入らぬよう注意して露出を合わせてください

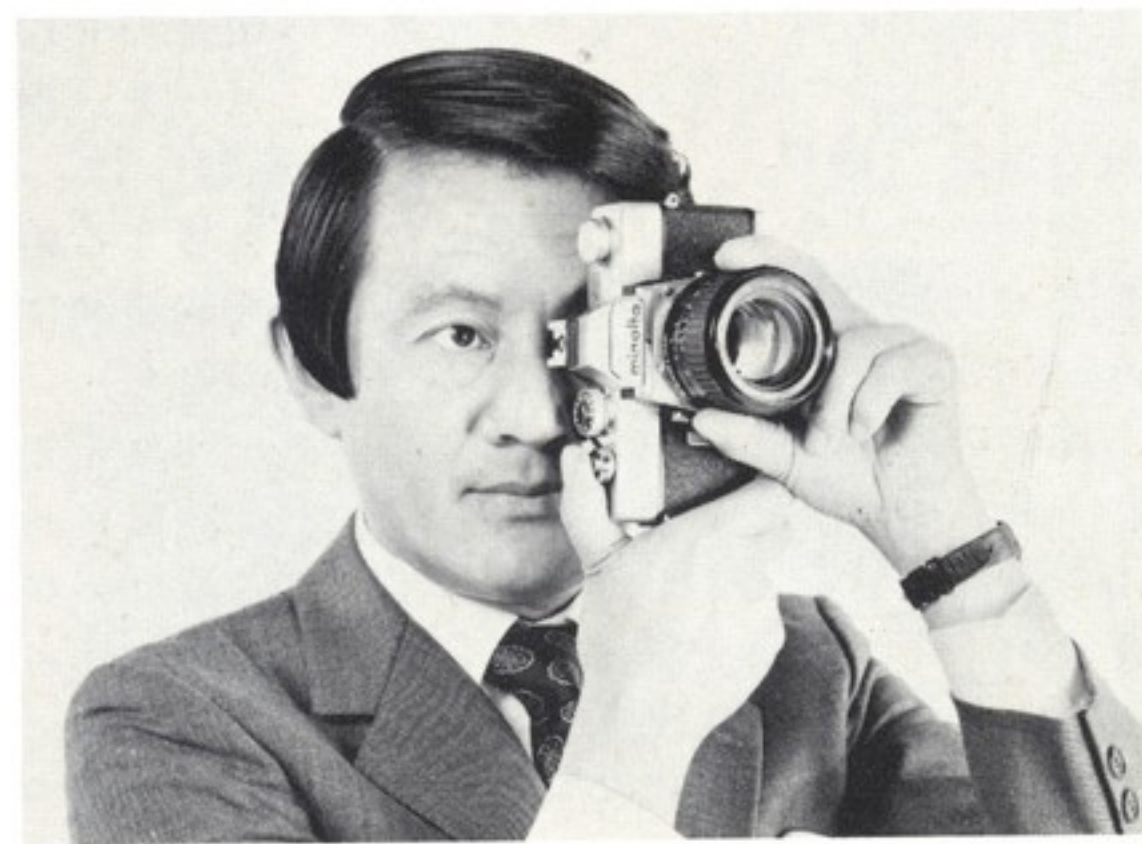
## カメラの構え方

カメラの構え方には、大別して縦位置と横位置があります。いずれの場合にも、しっかりカメラを持ち、無理のない姿勢をとって、手ぶれがしないように心掛けてください。手ぶれは撮影結果を台無しにします。



☆一般にはカメラを保持する方のひじを身体につけるとか、顔の一部に軽くつけるようにして支えます

☆縦位置は横位置よりも不安定ですので、とくにご注意ください





## ピントのあわせ方

ピント合わせはファインダー中央部のスプリットイメージ部その周辺のマイクロプリズム部及びマット部によって行ないます。その操作は焦点調節リングを左右に回して行ないます

☆マイクロプリズム部を利用するとき

ピントが合ったときはマイクロプリズム部の映像がシャープに見えます。その時スプリットイメージ部の像も合致し、マット部の像もはっきり見えます



ピントのあっていないとき

☆スプリットイメージ部を利用するとき

スプリットイメージの場合はピントの合っていないときは中央水平線の上下で像が左右にずれます。ピントの合ったときは中央水平線の像が合致しはっきりします



ピントのあっているとき

## 絞り効果と被写界深度

レンズの性質として、ある被写体にピントをあわせた場合、その前後にもピントのあっている範囲があります。これを被写界深度といい、前方深度（手前）は後方深度より浅くなります。被写界深度には次のような関係があります（次頁図参照）

1. 絞り値が大きいほど被写界深度は深く、逆に絞り値が小さいほど浅くなります
2. 距離が遠くなるほど深くなります
3. 望遠レンズになるほど浅く、広角になるほど深くなります

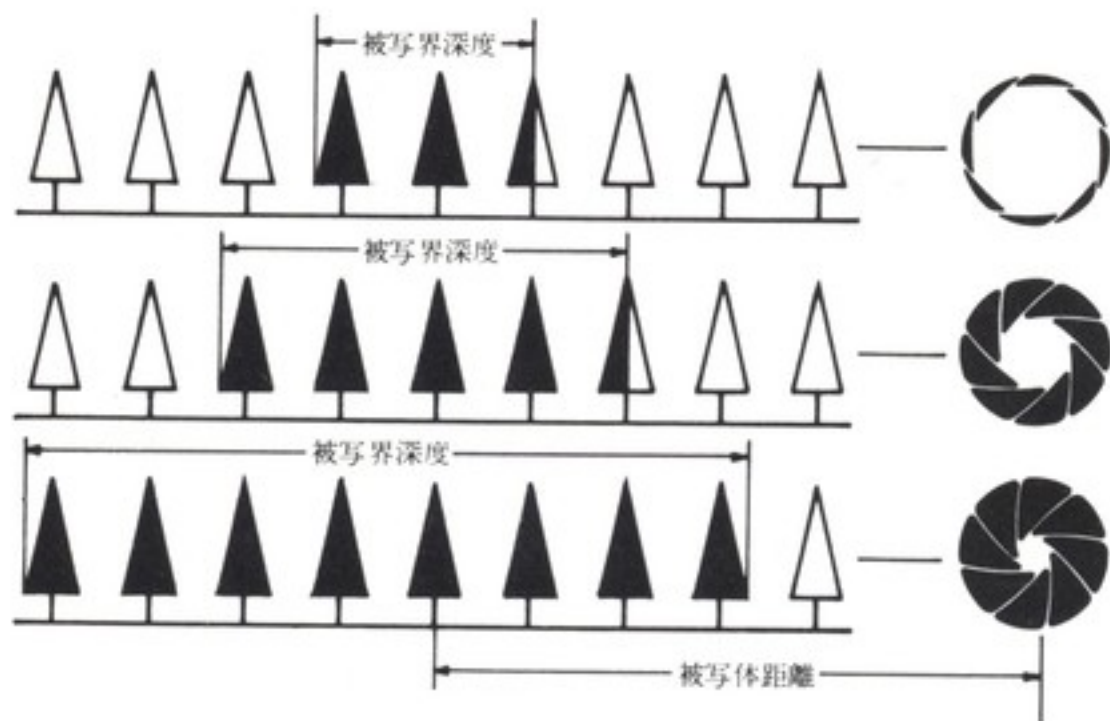
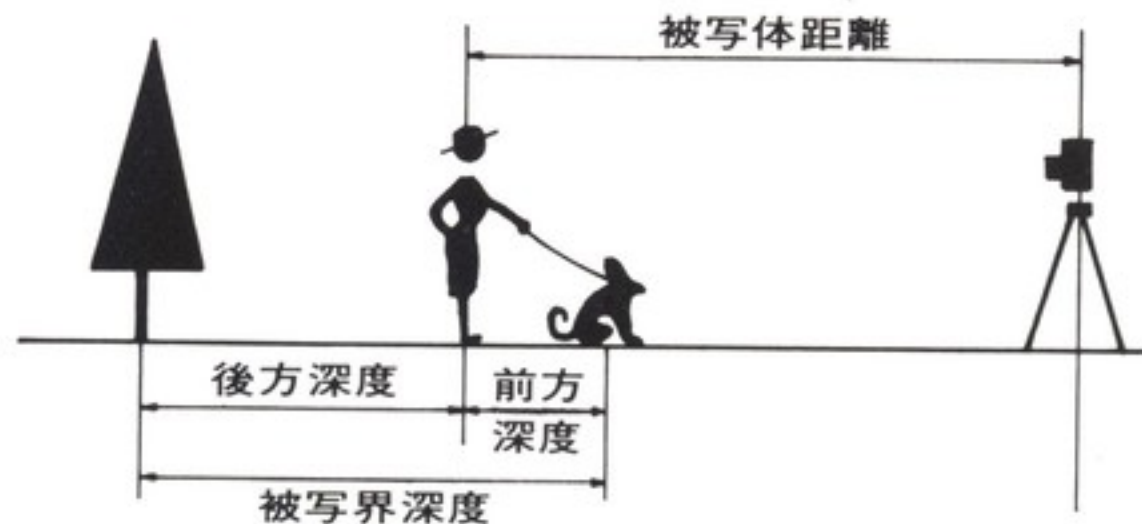
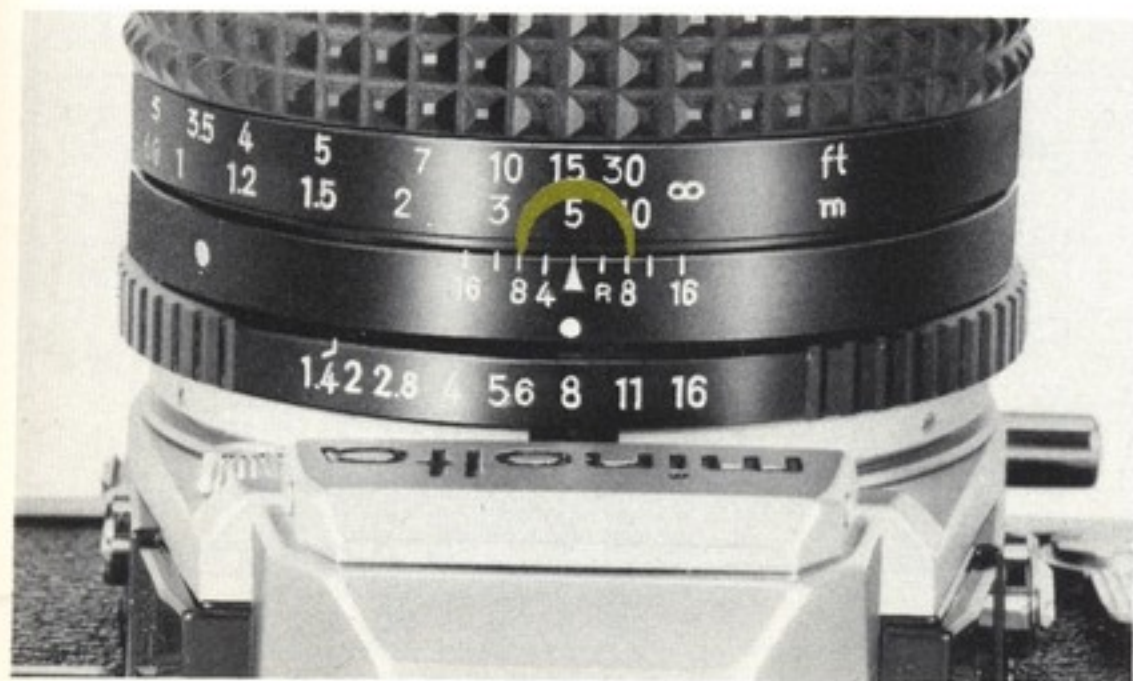
絞りを開放にしたとき



絞りを絞ったとき



被写界深度は、各レンズの深度目盛でわかります。例えば、被写体距離が5m、絞り値が8の場合には、◆マークの両側にある8の範囲内、つまり約3.5m～10mにある被写体はすべて鮮明な状態で写真に写ります。この性質を利用して作画意図にあうよう撮影してください



## 被写界深度表

### MC・ロッコール50mmF1.4の被写界深度表

絞(F) 距離(m)	1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	∞ 57.9	∞ 40.5	∞ 29.0	∞ 20.3	∞ 14.5	∞ 10.2	∞ 7.4	∞ 5.1
10	12.1 8.5	13.2 8.0	15.2 7.5	19.6 6.7	31.7 5.9	∞ 5.1	∞ 4.3	∞ 3.4
5	5.5 4.6	5.7 4.5	6.0 4.3	6.6 4.0	7.6 3.7	9.7 3.4	14.9 3.0	∞ 2.6
3	3.16 2.86	3.23 2.80	3.33 2.73	3.50 2.63	3.75 2.50	4.20 2.34	4.94 2.16	7.01 1.92
2	2.07 1.94	2.10 1.91	2.14 1.88	2.20 1.83	2.30 1.77	2.46 1.69	2.69 1.60	3.19 1.46
1.5	1.54 1.47	1.55 1.45	1.58 1.43	1.61 1.41	1.66 1.37	1.74 1.32	1.85 1.27	2.06 1.18
1.2	1.22 1.18	1.23 1.17	1.25 1.16	1.27 1.14	1.30 1.12	1.34 1.09	1.41 1.05	1.53 0.99
1	1.02 0.99	1.02 0.98	1.03 0.97	1.05 0.96	1.06 0.94	1.10 0.92	1.14 0.90	1.21 0.85
0.9	0.91 0.89	0.92 0.88	0.92 0.88	0.94 0.87	0.95 0.85	0.98 0.84	1.01 0.82	1.06 0.78
0.8	0.81 0.79	0.81 0.79	0.82 0.78	0.83 0.77	0.84 0.77	0.86 0.75	0.88 0.73	0.92 0.71
0.7	0.71 0.69	0.71 0.69	0.71 0.69	0.72 0.68	0.73 0.67	0.74 0.66	0.76 0.65	0.79 0.63
0.6	0.61 0.60	0.61 0.59	0.61 0.59	0.61 0.59	0.62 0.58	0.63 0.57	0.64 0.56	0.66 0.55
0.5	0.50 0.50	0.51 0.50	0.51 0.49	0.51 0.49	0.51 0.49	0.52 0.48	0.53 0.48	0.54 0.47

### MC・ロッコール50mmF1.7の被写界深度表

絞(F) 距離(m)	1.7	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	∞ 47.3	∞ 28.7	∞ 20.1	∞ 14.4	∞ 10.1	∞ 7.4	∞ 5.1
10	12.6 8.3	15.2 7.4	19.7 6.7	32.2 5.9	∞ 5.1	∞ 4.3	∞ 3.4
5	5.6 4.5	6.0 4.3	6.6 4.0	7.6 3.7	9.7 3.4	15.1 3.0	∞ 2.6
3	3.19 2.83	3.33 2.73	3.50 2.63	3.75 2.50	4.20 2.34	4.95 2.16	7.05 1.92
2	2.08 1.92	2.14 1.88	2.20 1.83	2.30 1.77	2.46 1.69	2.69 1.60	3.19 1.46
1.5	1.54 1.46	1.58 1.43	1.61 1.41	1.66 1.37	1.74 1.32	1.85 1.27	2.06 1.18
1.2	1.23 1.17	1.25 1.16	1.27 1.14	1.30 1.12	1.34 1.09	1.41 1.05	1.52 0.99
1	1.02 0.98	1.03 0.97	1.05 0.96	1.06 0.94	1.09 0.92	1.13 0.90	1.21 0.86
0.9	0.92 0.89	0.92 0.88	0.94 0.87	0.95 0.86	0.97 0.84	1.01 0.82	1.06 0.78
0.8	0.81 0.79	0.82 0.78	0.83 0.78	0.84 0.77	0.86 0.75	0.88 0.73	0.92 0.71
0.7	0.71 0.69	0.71 0.69	0.72 0.68	0.73 0.67	0.74 0.66	0.76 0.65	0.79 0.63
0.6	0.61 0.59	0.61 0.59	0.61 0.59	0.62 0.58	0.63 0.57	0.64 0.57	0.66 0.55
0.5	0.50 0.50	0.51 0.49	0.51 0.49	0.51 0.49	0.52 0.48	0.53 0.48	0.54 0.47

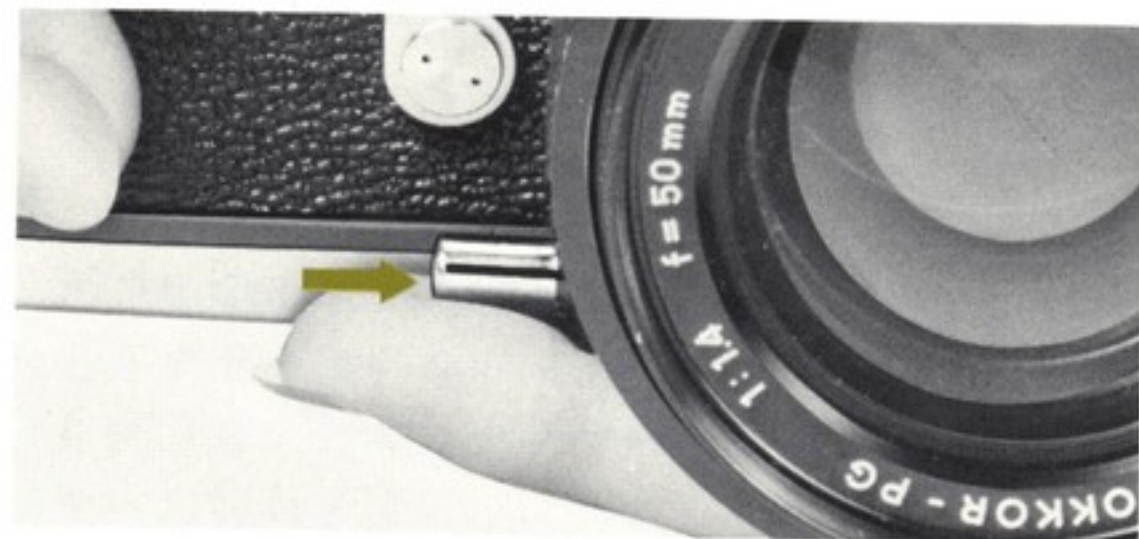


## 絞り効果の確認は……

MC（メーターカプラー付）レンズ群は、開放測光方式ですので、ファインダーは常に開放絞りになっています

被写界深度を含めた絞り効果の確認には、ボディ側のプレビューボタンを押します。標準レンズ以外では、レンズ側にあるプレビューボタンを押す方が便利です

- プレビューボタンは最初の押しで絞り込まれ、再度の押しで開放となります（巻上げ後でないとプレビューボタンは作動しません）
- 絞り込んだ状態でシャッターを切ると絞りは開放に戻ります



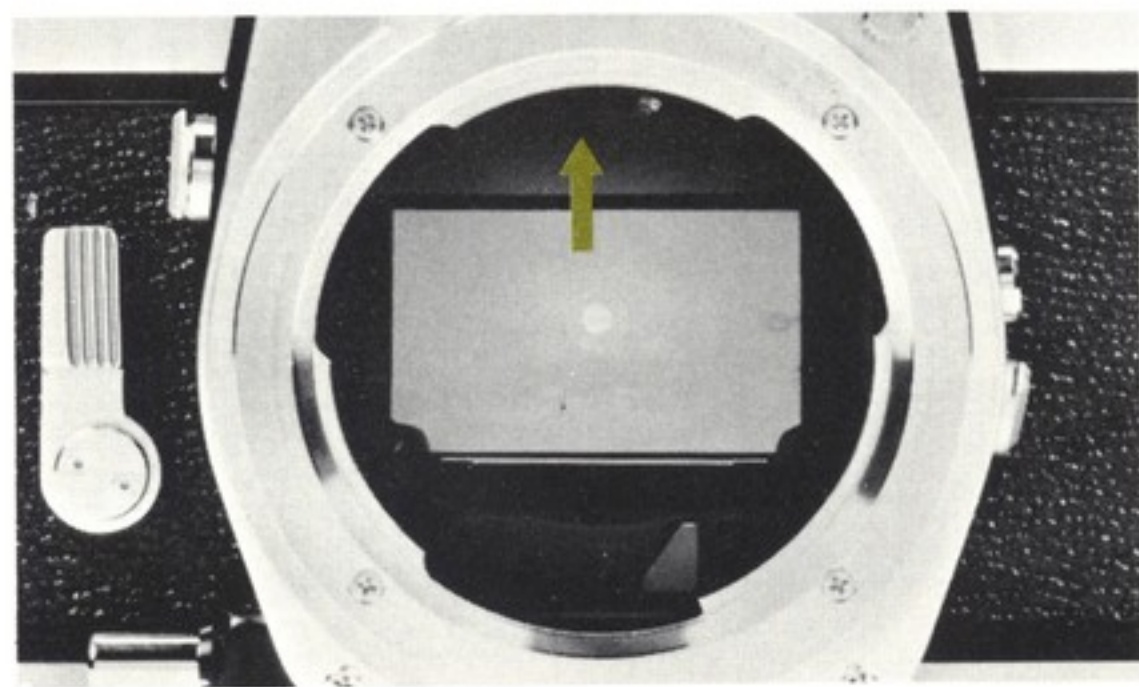
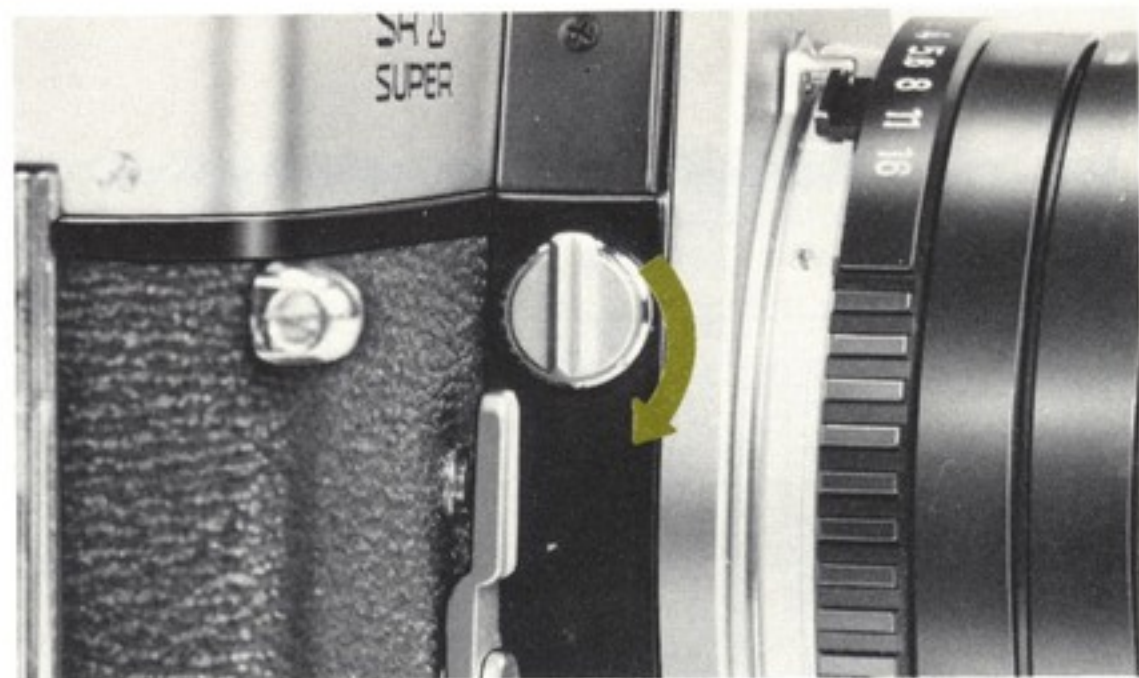
MC・ロッキール58mm F1.2の被写界深度表

絞 (F) 距離(m)	1.2	1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	∞ 86.0	∞ 74.5	∞ 52.7	∞ 37.3	∞ 26.3	∞ 18.6	∞ 13.2	∞ 9.3	∞ 6.6
10	11.3 9.0	11.5 8.8	12.3 8.4	13.6 7.9	16.0 7.3	21.3 6.5	40.3 5.7	∞ 4.9	∞ 4.0
5	5.3 4.7	5.4 4.7	5.5 4.6	5.8 4.4	6.1 4.2	6.8 4.0	8.0 3.7	10.5 3.4	19.5 2.9
3	3.10 2.90	3.12 2.89	3.17 2.85	3.25 2.79	3.37 2.71	3.55 2.60	3.84 2.46	4.34 2.30	5.34 2.09
2	2.04 1.96	2.05 1.95	2.07 1.93	2.11 1.90	2.15 1.87	2.22 1.82	2.33 1.75	2.50 1.67	2.80 1.56
1.5	1.52 1.48	1.53 1.47	1.54 1.46	1.56 1.45	1.58 1.43	1.62 1.40	1.67 1.36	1.76 1.31	1.90 1.24
1.2	1.22 1.19	1.22 1.18	1.22 1.18	1.24 1.17	1.25 1.15	1.27 1.14	1.31 1.11	1.36 1.08	1.43 1.03
1	1.01 0.99	1.01 0.99	1.02 0.98	1.02 0.98	1.03 0.97	1.05 0.96	1.07 0.94	1.10 0.92	1.15 0.86
0.9	0.91 0.89	0.91 0.89	0.91 0.89	0.92 0.88	0.93 0.88	0.94 0.87	0.96 0.85	0.98 0.83	1.02 0.81
0.8	0.81 0.79	0.81 0.79	0.81 0.79	0.82 0.79	0.82 0.78	0.83 0.77	0.84 0.76	0.86 0.75	0.89 0.73
0.7	0.71 0.70	0.71 0.70	0.71 0.69	0.71 0.69	0.72 0.69	0.72 0.68	0.73 0.67	0.75 0.66	0.77 0.65
0.6	0.60 0.60	0.60 0.60	0.61 0.60	0.61 0.60	0.61 0.60	0.62 0.59	0.62 0.58	0.63 0.57	0.65 0.56

## ミラーロックボタンの扱い方

ミラーロックボタンは旧タイプ超広角F4 21mmレンズを用いるとき使用します。ミラーロックボタンを矢印のようにまわすとミラーの上がった状態になり逆にまわすとミラーはもとの位置に戻ります

ミラーロックの操作は、フィルム巻上げに関係なく行なうことができます





## セルフタイマーはこんなとき……

みんなと一緒に記念撮影など行ないたいときセルフタイマーが便利です。フィルムを巻上げてから、レバーを矢印の方に倒すと、セルフタイマーがセットされます。始動ボタンを押すと、セルフタイマーが作動し、約10秒後にシャッターが切れます



### 注意

☆セルフ始動ボタンを押してもフィルムを巻上げていないとき、セルフレバーは途中でとまります

このときはレバーをもう一度セットし、巻上げ再び始動ボタンを押してください

☆セルフタイマーをセットしてシャッターボタンを押すと、セルフタイマーは作動せず、シャッターが切れます

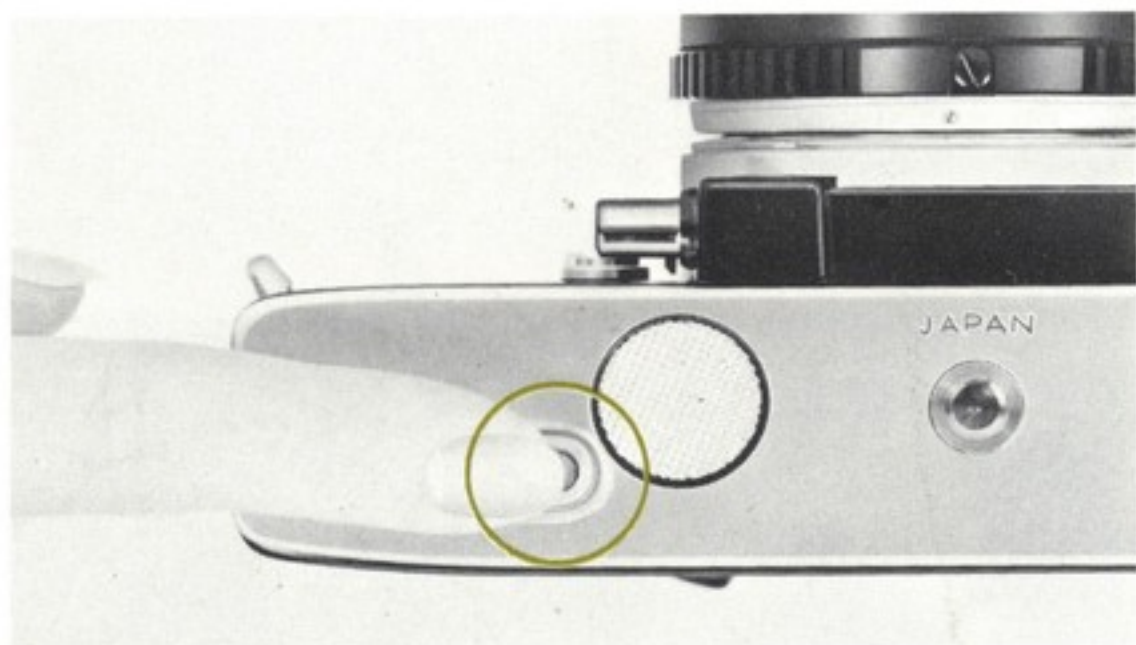
## 多重露光について

多重露光ボタン(巻戻しボタン兼用)を操作することにより、多重撮影が簡単に行なえます

- (1) 1回目の露光を行い、つぎに多重露光ボタン(巻戻しボタン兼用)を押し込み、巻上げを行います
- (2) 次の露光をします この操作を繰り返すと何回でも露光できます
- (3) 希望回数露光後、多重露光ボタンを押さずにフィルム巻上げを行いますと通常の撮影状態にもどります

注意

☆多重露光したとき、巻上レバーの作動に連動してカウンターが進みますので撮影枚数にご注意ください





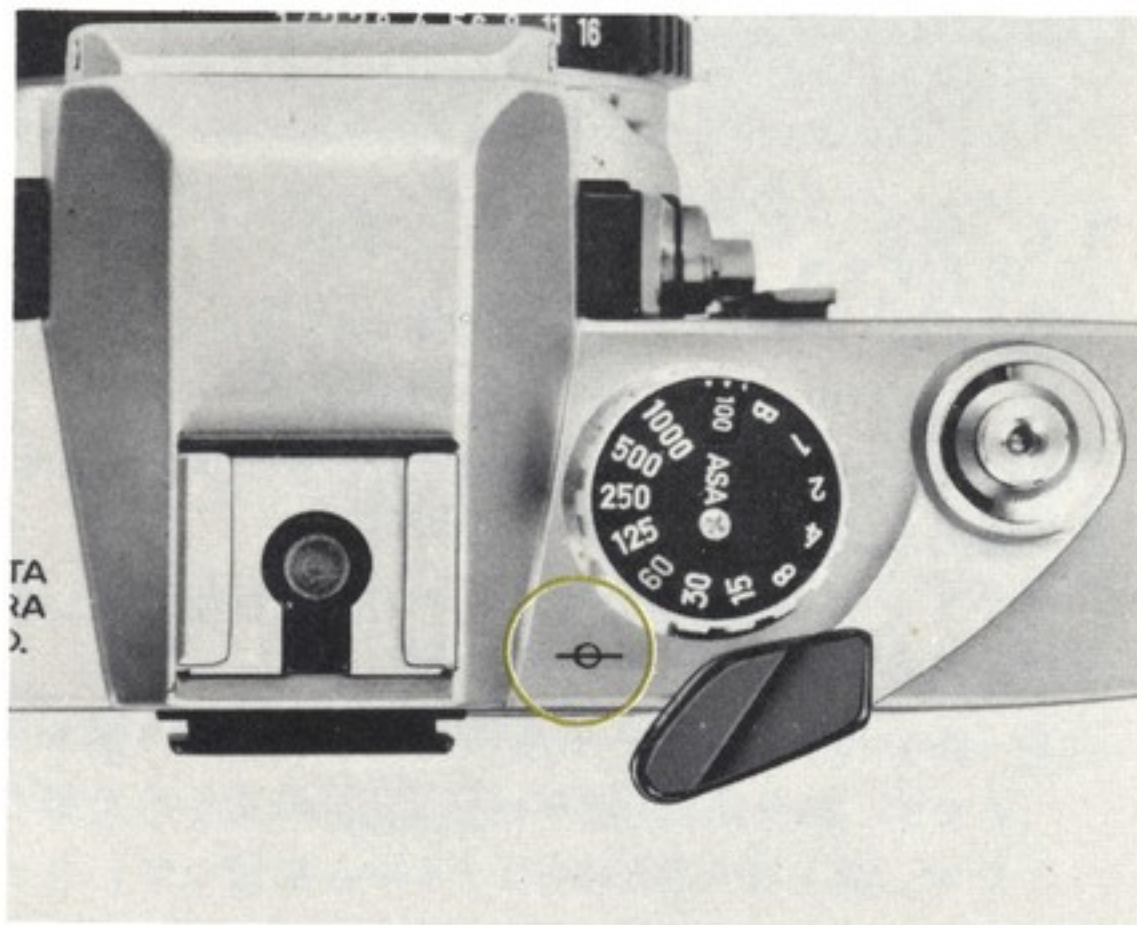
## 赤外撮影には赤外マークで……

赤外フィルムを使って赤外撮影を行なうときは一般の撮影の場合とピントのあう位置が異なります。ピントあわせの後で、距離目盛上の数字を深度目盛のRまでずらせて撮影してください。赤外撮影の場合の露出は、赤外フィルムの使用説明書に従ってください



## ⊕マークはフィルム位置

カメラボディの上部にある⊕マークは、フィルム面の位置を表示しています。被写体までの距離はこの位置を基準にしてください





## フラッシュ撮影について

夜間や暗い場所での撮影、あるいは昼間でも補助光としてフラッシュを用います

### 1. フラッシュを取付けます

#### ①ノンコード式するとき

フラッシュをノンコードガンクリップにさしこみ固定します

#### ②コード式するとき

フラッシュをノンコードガンクリップにさしこみ、シンクロコードをシンクロターミナルにさしこみます

### 2. フラッシュの種類により、ターミナル切替ノブを合わせます

①エレクトロフラッシュ(ストロボ)のときはXにします

②FP級バルブのときはFPにします

③M級及びMF級バルブを使用するときは、Xにします

### 3. 露出を決めます

①フラッシュ撮影ではガイドナンバーを基準にして露出を決めます

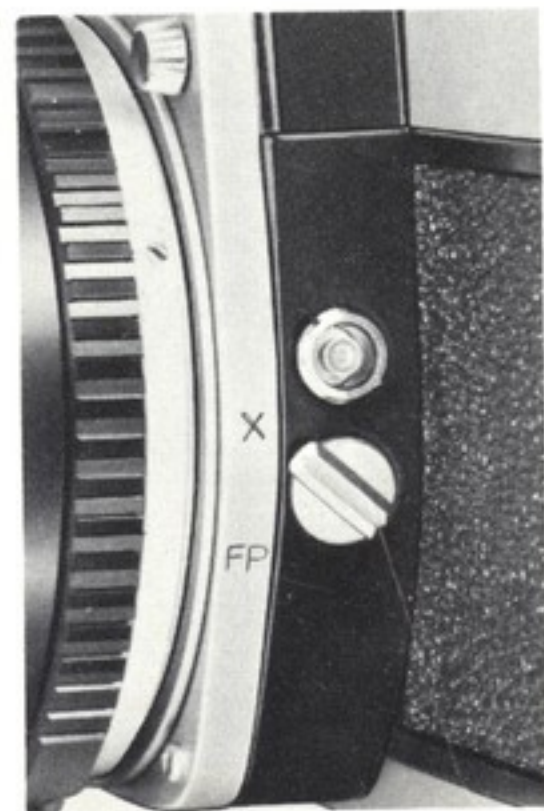
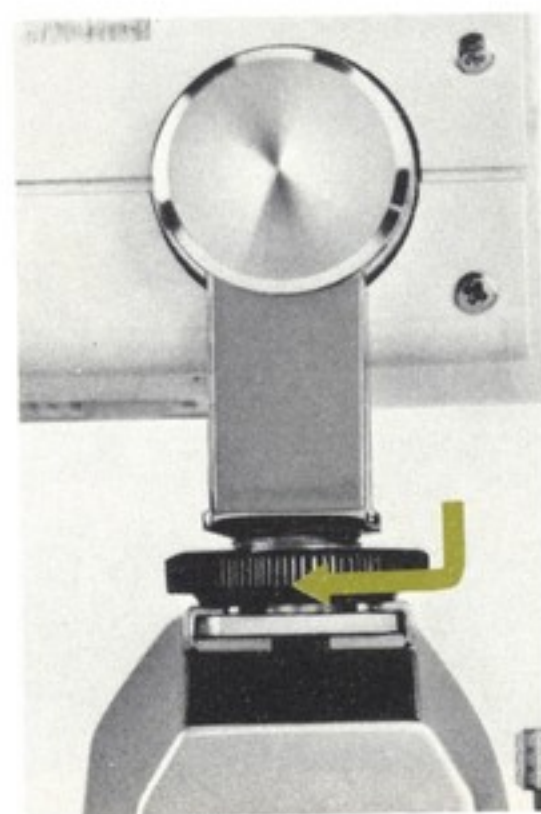
②一般にはシャッター速度を決め、次に絞り値を求めます。絞り値は[絞り値 =  $\frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{被写体距離}}$ ]の式から計算します。例えばASA100のフィルムを使って、シャッター速度1/60秒で、ガイドナンバー40のとき被

写体距離5mとすると $\frac{40}{5} = 8$ となり、絞り値は8となります

③シャッター速度はフラッシュ撮影組合わせ表にしたがって決めてください

④ストロボ使用の場合は、特別の場合を除いて1/60をご使用ください

⑤明るい場所で補助ライトとして使用するときには主光線の露出に従います





## フィルムの巻戻し方

フラッシュ撮影組合わせ表(斜線の部分が使える速度)

接点	シャッター速度 (秒)	B	1	1/2	1/4	1/8	1/15	1/30	1/60 (X)	1/125	1/250	1/500	1/1000
		FP	FP級	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
X	ストロボ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	M級	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	MF級	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

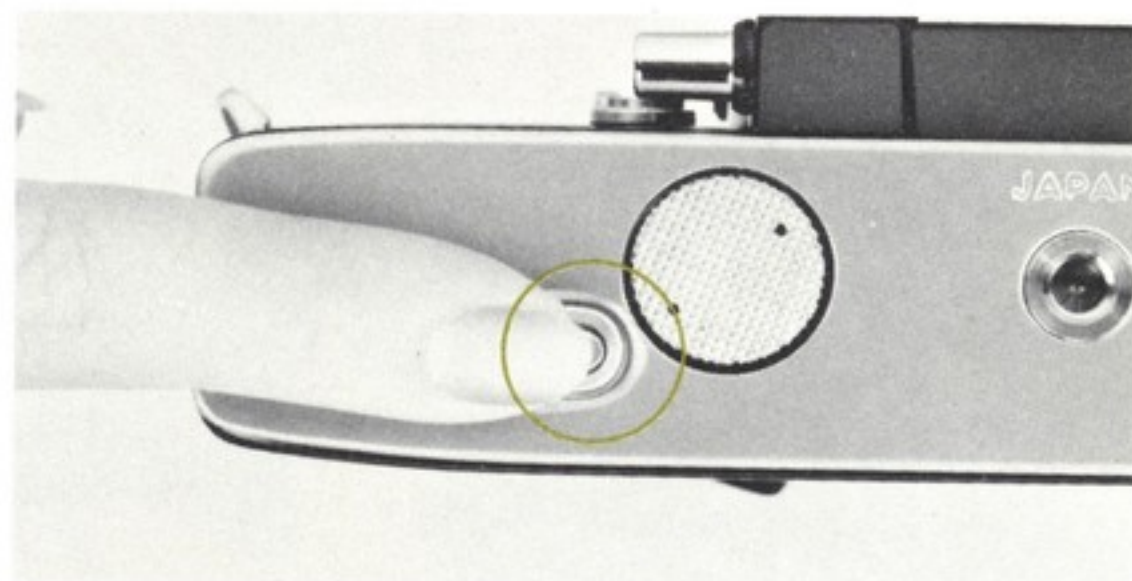
### 注意

ガイドナンバーはエレクトロフラッシュ或はフラッシュバルブの説明書に表示され、ASA感度により異なり、FP級バルブの場合は、シャッター速度により異なりますからご注意ください

☆ベースレスの小型(AG-1)などのMF級バルブを使用するときは、X接点にして1/15秒以下のスローシャッターを用います

☆ストロボ使用の場合は、特別の場合を除いて1/60をご使用ください

☆明るい場所で補助ライトとして使用するときには主光線の露出に従います

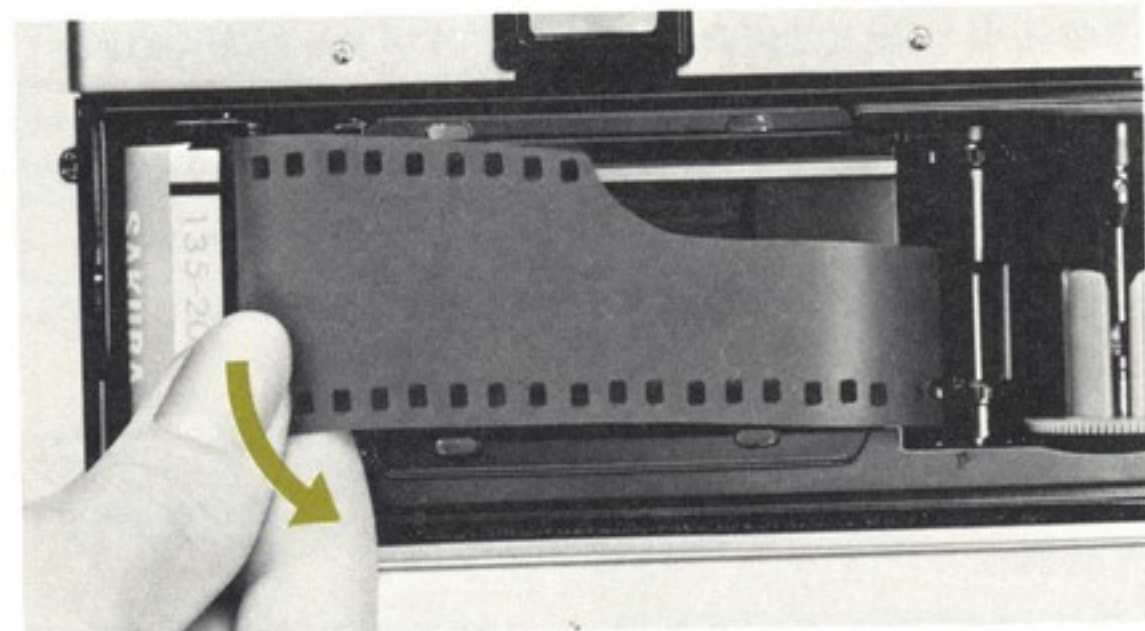


1 カメラの底部にある巻戻しボタンを押します  
巻戻しボタンは指を離しても押されたままの状態になっています

(もし指を離したときに、ボタンがもとどおりでてくる場合は、指で押したまま少し巻きもどし、ボタンから手を離してフィルムを巻上げ、もう一度巻戻しボタンを押すと、押込まれた状態のままになります)



- 2** 巻戻しクランクを起こして、矢印の方向にまわして巻戻します  
スプールの溝から離れると、巻戻しが急に軽くなるので、手ごたえでわかります

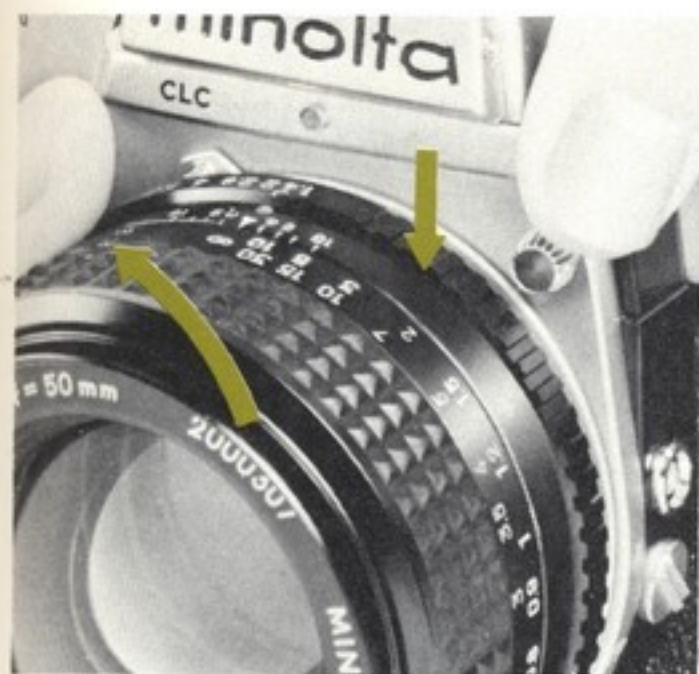


- 3** 巻戻しノブを引きあげ裏蓋をあけて、パトローネを取り出します

- 
- 巻戻しボタンは、巻上げレバーを巻上げると自動的にもとの状態に戻ります
- ☆フィルムを全部写し終わると、フィルムの最後で巻上げレバーがとまることありますが、この場合、巻上レバーを無理にまわさないでください
-



## レンズ交換について



### ●レンズをはずすとき

レンズ交換はバヨネット式で、レンズ交換ボタンを下に押し、レンズを反時計方向にカメラ前板の赤点と、レンズ鏡胴の赤点が合うまでまわすとはずれます



☆レンズをはずした時遮光板やミラーにふれないでください  
☆ボディ内にゴミが入らないようにしてください  
☆レンズ面にキズや指紋をつけないように注意してください



### ●レンズをとりつけるとき

レンズの鏡胴の赤点とカメラ前板の赤点をあわせて、時計と同じ方向にまわすとカチリと固定します  
レンズ側に三脚ねじのついているようなレンズの場合は、ボディの方を回してください

## 従来のSR用レンズを使うとき

### ●オートプリセットレンズのとき



MCレンズ群を用いるときには、いずれも開放測光方式で使用しますが、従来からのSR用レンズを用いるときは、絞り込み測光方式となります

- (1) 卷上げレバーを卷上げてから、ボディ側のプレビューボタンを押します
- (2) シャッター速度を決め、レンズの絞りリングを回して露出を合わせます



## ●ハンドプリセットレンズのとき



シャッター速度を決め、プリセットリングをあらかじめ最小絞りの位置に回しておき、絞りリングを回して露出をあわせませす

または、プリセットリングと絞りリングを揃えて操作してもよいのです

### 注意

☆これらのレンズでは露出あわせのあと、もしレンズを開放にすると、メーター指針は追針から外れますが、使用の絞り値を変えないときは再び露出合わせを行う必要はありません

☆これらのレンズではシャッター速度を変えると追針が動き、絞りを変えるとメーター指針の振れが変わります

☆ハンドプリセットレンズでは絞り込みボタンを使う必要はありません

## SR-Tスーパーと各交換レンズ群の測光方法

SR-TスーパーはMCレンズ群の他従来のレンズ群も TTL測光が可能です。各レンズ群の測光方法を次表に表します

但し、旧オートプリセットレンズの内一部使用できないものがあります。くわしくは各地サービスステーションにご相談ください

☆SR-Tスーパーには豊富な交換レンズ、アクセサリ類が用意されています。それらについては別冊のミノルター一眼レフ用交換レンズおよびアクセサリ解説書をご覧ください

レンズの種類	測光方式		備考
	MCレンズ	従来のレンズ	
16mm/F 2.8	開放測光		完全自動絞り 各種フィルター内蔵
21mm/F 2.8	開放測光		完全自動絞り
24mm/F 2.8	開放測光		完全自動絞り
28mm/F 2.5	開放測光		完全自動絞り
28mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
35mm/F 1.8	開放測光		完全自動絞り
35mm/F 2.8	開放測光		完全自動絞り
50mm/F 1.7	開放測光		完全自動絞り
50mm/F 1.4	開放測光		完全自動絞り
55mm/F 1.7	開放測光		完全自動絞り
58mm/F 1.4	開放測光		完全自動絞り
58mm/F 1.2	開放測光		完全自動絞り
85mm/F 1.7	開放測光		完全自動絞り
100mm/F 2.5	開放測光		完全自動絞り
100mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
135mm/F 2.8	開放測光		完全自動絞り
135mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
200mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
200mm/F 4.5	開放測光		完全自動絞り



## カメラの保存と手入れ

レンズの種類	測光方式		備考
	MCレンズ	従来のレンズ	
300mm/F 4.5	開放測光		完全自動絞り
300mm/F 5.6	開放測光		完全自動絞り
600mm/F 5.6		絞り込測光	ハンドプリセット絞り
800mm/F 8		絞り込測光	フィルターによる 光量調節式
テリート 800mm/F 6.3		絞り込測光	ハンドプリセット絞り
1000mm/F 6.3		絞り込測光	フィルターによる 光量調節式
1600mm/F11		絞り込測光	フィルターによる 光量調節式
ズーム 80-200mm/F 4.5	開放測光		完全自動絞り
100-200mm/F 5.6	開放測光		完全自動絞り
100-500mm/F 8	開放測光		完全自動絞り
マクロ 50mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
100mm/F 3.5	開放測光		完全自動絞り
ペローズ 100mm/F 4		絞り込測光	完全自動絞り
135mm/F 4		絞り込測光	ハンドプリセット絞り
PHOTAR 12.5mm/F 1.9		絞り込測光	手動絞り
PHOTAR 25mm/F 2.5		絞り込測光	手動絞り

ゆきとどいたカメラの手入れが、カメラを長持ちさせます。レンズにゴミやホコリ、あるいは塩分がかぶったときには、ゴム球のプロアーでゴミやホコリを払い、それからシリコンクロスなどで軽くふいて下さい。これでも汚れがとれないときは、よく洗った清潔な木綿の布、またはレンズクリーニングペーパーにアルコールとエーテルの混合液（アルコールとエーテルの割合は6対4ぐらい）あるいは市販の液体クリーナー（コダック、フジフィルム製等）一滴ほど浸みこませて、レンズ中心からうずまき状に軽くふきます。レンズを清掃する場所はレンズ前玉表面と後玉の表面のみにして下さい。レンズをはずしたときにミラーや遮光板にふれないでください

保存には高温多湿、塩分のあるところはさけて下さい。レンズは距離目盛を∞に合わせて、シャッター切っておきます。長期間使わないときは水銀電池は取出しておきましょう。シリカゲル等の乾燥剤と一緒に保存するように心掛けてください



## アフターサービスのご案内

ミノルタカメラでは、ご愛用者のみなさまからご質問、ご相談、カメラ修理、その他アフターサービスなどいっさいを承りますために、各地にサービス・ステーションを設けております。ここにはミノルタの新製品をはじめ、各種カメラを展示しております。また、各種パーツや専用検査機をつねに完備して、スピーディに、しかも完璧なサービスを心がけております。お気軽にご利用ください

### 1. 撮影の失敗・カメラの故障を防ぐためには……

カメラによって、特長や使用法が異なりますので、使用説明書を十分お読みの上、ご使用ください

- 大切な写真（結婚式、新婚旅行、業務用等）は事前に一度試写していただくか、最寄りのサービス・ステーションでの点検をおすすめします  
また万一故障の場合に備えて、サブカメラをお持ちいただければより安全です

- 雨の日、海岸、火山等は水滴、ガス等によってさび、腐蝕の原因にもなりますので十分ご注意ください

- カメラの持ち歩きはケースを付け、肩紐は出来るだけ短かくし、振動、ショックを受けないようお持ちください

長い交換レンズを携帯される場合は、できるだけボディからはずしてください。なおレンズ交換は直射日光をさけ、日陰でおこなってください

### 2. カメラが不調のとき

お手持ちのカメラが不調のときは、直接最寄りのサービス・ステーションに現品ご持参の上ご相談ください。ご持参できない場合は郵送していただくか、また近くのカメラ店にお持ちください

直接郵送またはカメラ店経由についてのお願い

- 保証書添付の上、故障内容、修理依頼箇所をご明示ください
- 郵送の場合は必ず書留小包便にてご送付ください



### 3.修理に要する費用……

お買上げ後の1年間は無料です

カメラの保証書は、お買上げのときから1年間有効です。お申し出いただきましたとき、この保証書をおしめしくださいますと、修理代は無料です。もし保証書をご持参くださらないときは、有料になりますのでご注意ください。但し、下記の場合は保証期間中でありましても、無料修理をいたしかねますので、ご了承ください

- 火災、浸水、その他の天災による故障
- 不慮の事故、誤用、衝撃が原因である故障
- 当社以外で修理か改造をして起こした故障

2年目からは有料です

有料修理のときは、下記料金にて修理、調整をいたします

カメラの種類	一般修理料金
一眼レフカメラ	¥1,600～¥3,000

但し、この料金は一般修理の場合で、それ以外は別に定めた料金をいただきます。また修理の際の運賃、部品交換、諸掛かり料はご負担願います

### 4.修理にかかる日数は……

ご愛用のカメラが不調のときは、1日も早くミノルタカメラ・サービス・ステーションにお持ちください。簡単な修理の場合は、その場で調整させていただきますが、修理の内容により日数がかかります場合は、綿密な調整と厳重な検査を要しますので約1週間お預りさせていただきます

## 5. 海外旅行中に故障したとき……

海外旅行の途中でカメラが不調のときは、アメリカではニューヨーク、シカゴ、ロスアンゼルス、アトランタ、ハワイ、ドイツではハンブルグその他ホンコンのサービス・ステーションに直接お越しいただくか、郵送くださいましたら、日本語の保証書は通用いたします

また各国にミノルタカメラの代理店を配置しておりますから、その方もご利用ください（この場合、一般代理店では購入国別保証制度を採用しておりますので、保証範囲内の修理でも料金を請求されますからご了承ください）ご出発の時は、海外サービス・ステーションおよび代理店の居所一覧表を最寄りのサービス・ステーションからお取り寄せの上お持ちください

## 6. カメラの相談はサービスマンが承ります

カメラ、写真、撮影についてのご質問、ご相談、あるいはミノルタ製品を直接手にとってご覧になりたいときはご遠慮なく最寄のサービス・ステーションにお出かけください

ミノルタカメラの各サービス・ステーションには、カメラやアクセサリを展示し、サービスマンがお待ちしております。その他、ミノルタカメラのカタログも豊富に用意しております。ご希望の節はお手紙、お電話でどんどんお申し付けください



## 7. 各地サービス・ステーション

札幌サービス・ステーション(営業所内) ☎060  
札幌市中央区北二条西4丁目 三井ビル2階  
TEL (011)281-6666(代)

仙台サービス・ステーション(営業所内) ☎980  
仙台市二日町1番23号 熱海ビル3階  
TEL (0222)23-8783・8784

新潟サービス・ステーション(支所内) ☎950  
新潟市東大通1丁目4番1号 マルタケビル4階  
TEL (0252)44-7188(代)

東京サービス・センター ☎104  
東京都中央区銀座6丁目17番2号 木挽館新館  
TEL (03)542-1261(代)

新宿サービス・コーナー ☎160  
東京都新宿区新宿3-38-1 新宿ステーションビル4階  
TEL (03)352-6552・6553

横浜サービス・ステーション(支所内) ☎231  
横浜市中区尾上町5丁目77番2号 千代田生命横浜ビル  
TEL (045)651-2511・2512・2513

静岡サービス・ステーション(支所内) ☎420  
静岡市呉服町2丁目3の1 ふしみやビル8階  
TEL (0542)52-9185・9186

名古屋サービス・ステーション(営業所内) ☎460  
名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル  
TEL (052)962-6761(代)

大阪サービス・センター ☎542  
大阪市南区塩町通り4の23 新東和ビル1階  
TEL (06)251-2022(代)

高松サービス・ステーション(支所内) ☎760  
高松市本町6-22-21 谷沢ビル  
TEL (0878)51-6239

広島サービス・ステーション(営業所内) ☎730  
広島市東千田町1丁目3の13  
TEL (0822)41-1404・46-1953 45

福岡サービス・ステーション(営業所内) ☎812  
福岡市博多区神屋町1番25号  
TEL (092)29-7823・7824

### ニューヨーク

**Minolta Corporation.**  
200 Park Avenue South.,  
New York, N. Y. 10003, U. S. A.  
Tel: (212)674-8525

### シカゴ

**Minolta Corporation.**  
6666 North Lincoln Avenue.,  
Lincolnwood Illinois 60645, U. S. A.  
Tel: (312)675-7260

### ロスアンゼルス

**Minolta Corporation.**  
14204 South Prairie Avenue.,  
Hawthorne, California 90250, U. S. A.  
Tel: (213)664-3678

### アトランタ

**Minolta Corporation.**  
1434 Chattahoochee Avenue. N. W.,  
Atlanta, Georgia 30318, U. S. A.  
Tel: (404)351-9600

### ハワイ

**Movie Supply of Hawaii Ltd.**  
770 Kapiolani Blvd.,  
Honolulu, Hawaii 96813, U. S. A.  
Tel: (808)533-1737

### ハンブルグ

**Minolta Camera  
Handelsgesellschaft m. b. H.**  
2000 Hamburg 1, Spaidingstrasse 1.  
West Germany.  
Tel: HAMBURG 24 13 86-89

### ホンコン

**Minolta Hong Kong Limited.**  
D' Aguilan Place, D' Aguilar Street,  
HongKong 18, Strand, Cinema, Colaba,  
Bombey-5  
Tel: 5-231588, 237325  
Tel: 215603

# Minolta

ミノルタカメラ株式会社

☎541 大阪市東区安土町2-30 (06)271-2251  
(大阪国際ビル)

☎105 東京都港区浜松町2-4-1 (03)435-5511  
(世界貿易センタービル)